



埼玉県議会議員

岡地まさる 県政報告

信頼と責任

2020年 春号

岡地まさる県政事務所

桶川事務所

桶川市上日出谷42-73

TEL.048(780)2982

FAX.048(780)2983

発行 埼玉県議会自由民主党議員団

108-2

県議会2月定例会 過去最大となる新年度予算決まる

令和2年度一般会計予算 約1兆9,614億円

安心・成長・埼玉の新時代を創る!



県議会2月定例会は3月27日、過去最大となる令和2年度当初予算1兆9,603億1,500万円（一般会計／補正後累計：1兆9,614億3,464万3千円）をはじめ、新型コロナ緊急対策費として総額約35億円となる補正予算等を議決し閉会しました。

新年度予算は、昨年の台風19号による甚大な被害やCSF(豚コレラ)の発生などを受け、危機管理体制及び防災・減災対策の強化が図られた内容となっています。また、埼玉経済の成長を支える施策が充実しています。

自民党県議団は今後も、防災・減災対策の強化をはじめ、福祉・教育の充実、経済成長とインフラの整備など、埼玉県の発展と住みよい暮らしを実現するため、あらゆる政策を提言してまいります。

自民党県議団でコロナ対策の緊急要望

緊急対策費として 総額約35億円を計上!!



新型コロナウイルスの拡大を受け、自民党県議団は2月13日に緊急要望書を大野知事に提出。県は元年度予備費から約8千万円を充当して、24時間の専用電話相談窓口「県民サポートセンター」の開設などを進めました。

2月定例会では、第2弾として補正予算約4億5千万円を議決。さらに国の新型コロナ特措法の改正案成立を受け、第3弾として補正予算約30億円を議決しました。検査システムの強化や受診体制の整備をはじめ、医療機関等のマスク・消毒液の緊急調達、中小企業への新たな融資支援などが盛り込まれています。

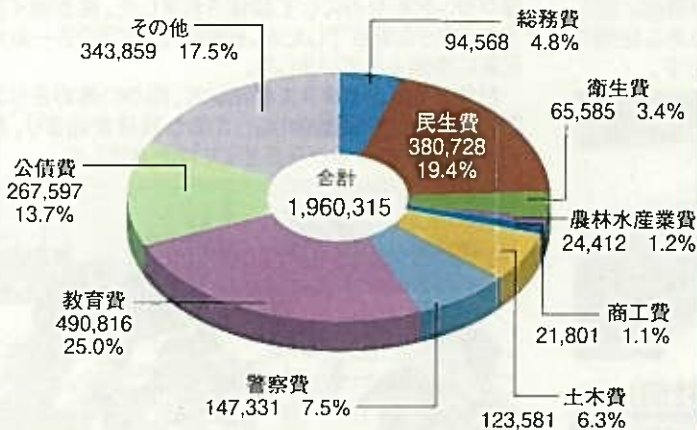
令和2年度当初予算(一般会計)

歳出(内訳)

(単位=百万円)

その他の内訳

議会費	3,209	0.2%
労働費	5,542	0.3%
災害復旧費	3,385	0.2%
予備費	500	0.0%
諸支出金	331,257	16.9%
小計	343,894	17.5%



自民党県議団が提案・可決

全国初!! ケアラー支援条例

県議会2月定例会において私たち自民党県議団は、家族などを介護・看護するケアラーを支援するための「ケアラー支援条例」と「受動喫煙防止条例」を提案し、賛成多数で可決されました。

埼玉県は急速に高齢化が進んでいます。条例ではケアラーが孤立しないように十分配慮するとともに、県は市町村、関係機関、事業者及び民間支援団体と相互連携を図

り支援に取り組まなければならないと定めています。

また、18歳未満のヤングケアラーに対する教育機会の確保などを求めています。施行は3月31日からになります。

受動喫煙防止条例案は、今年4月改正の改正健康増進法を補完するもので、客席面積100㎡以下の飲食店も原則禁煙とし、ただし従業員がいない場合や全従業員の承諾がある場合は喫煙できると定めています。

施行は県民への告知期間を十分に設けるため来年4月1日としています。

桶川市内の主な県事業

令和2年度、地元の桶川市において県の予算を確保した事業箇所をご報告します。

地元事業箇所(県土整備部) 〔令和2年度当初予算〕

路線名等	事業名等	事業概要
① 加納線	街路整備	《L=440m、W=13.0(27.0)m》
② 駅東口通り線	街路整備	《L=130m、W=6.0(20.0)m》
③ 駅東口通り線	社会資本整備総合交付金(街路)事業	《L=130m、W=6.0(20.0)m》
④ 川越栗橋線(川田谷)	舗装道整備	切削オーバーレイ《W=9.44m、L=350m》
⑤ 川越栗橋線(加納)	舗装道整備	切削オーバーレイ《W=8m、L=232m》
⑥ さいたま鴻巣線(石戸宿)	舗装道整備	切削オーバーレイ《W=5.05m、L=350m》
⑦ 蓮田鴻巣線	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業	歩道整備
⑧ 太郎右衛門橋(川越栗橋線)	橋りょう修繕	床版修繕
⑨ べにはな陸橋(川越栗橋線)	橋りょう修繕	橋脚補強、落橋防止
⑩ べにはな陸橋(川越栗橋線)	社会資本整備総合交付金(橋りょう維持)事業	橋脚補強、落橋防止
⑪ 江川	河川改修	堤削工
⑫ 江川	社会資本整備総合交付金(河川)事業	調節池整備工、水道管移設負担金



〔令和元年度2月補正予算〕

路線名等	事業名等	事業概要
補① 駅東口通り線	社会資本整備総合交付金(街路)事業	《L=130m、W=6.0(20.0)m》
補② べにはな陸橋(川越栗橋線)	社会資本整備総合交付金(橋りょう維持)事業	耐震補強工事



公社事業対策特別委員会県外視察<1月14日・15日>

私が副委員長を務めている公社事業対策特別委員会において、神奈川県相模原市の(株)さがみはら産業創造センターと相模鉄道羽沢横浜国大駅を視察いたしました。

●さがみはら産業創造センター

(株)さがみはら産業創造センターは相模原市、(独)中小企業基盤整備機構、民間企業等が出資し平成11年に設立されたインキュベーションセンターです。企業ニーズに基づいた企業支援メニューと、企業を支援するインキュベーションマネージャーを中心とした企業支援モデルは、高い評価を受けています。インキュベーションマネージャーが個別企業の経営支援だけでなく、研究開発、人材育成、投資などの事業を企画から実施まで支援するなど、多様なニーズに対応しています。

本県の出資法人による地域産業振興の取り組みの参考になりました。



●相互乗り入れを進める相模鉄道

相模鉄道(株)は、相鉄・JR直通線と相鉄・東急直通線を整備し、相互運転を行うことにより、横浜市西部と東京都心部とのアクセス向上、東海道新幹線新横浜駅へのアクセス向上等の実績を上げています。また、相鉄は地下鉄南北線を通じて埼玉高速鉄道への乗り入れも検討しており、開業は令和4年度下期を予定しているとのことでした。

埼玉県でも地下鉄7号線の岩槻、蓮田までの延伸について、沿線開発や交流人口の増加に向けた取り組み、採算性のある事業の確保が課題となっており、相鉄の取り組みは意欲的であり、たいへん参考になりました。



コラム

今年1月に新型のコロナウイルスが検出され、それから間もなく3か月、感染は世界全土に広がり収束の兆しが未だ見えてきません

マスクや除菌製品が不足し、不安が広がる中、紙類がなくなるというデマにも翻弄されました。不安を解消するには、正確な情報提供と継続的な相談体制や検査体制の強化がたいへん重要です。

一斉休校や事業自粛要請の中、知恵を絞り様々な工夫をしながら、この難局を乗り越えようと奮闘している方々から学ぶべき事は多く、マンパワーの大切さを痛感しています。

近年、様々な災害が起きていますが、「過ぎたるは猶及ばざるが如し」と言いますように、過剰な備蓄はいけません「備えあれば患いなし」の大切さを感じずにはられません。

東奔西走、日々全力



県道蓮田・鴻巣線

右折帯設置工事が進行中

県道蓮田・鴻巣線の右折帯設置工事が順調に進んでいます。場所は倉田の荒井鉄筋さんがある北側の交差点です。工期は3月末に完成の予定です。



県道川越・栗橋線(坂田八雲神社前)

道路の拡幅工事が進行中

坂田八雲神社の前(坂田地内)、県道川越・栗橋線の道路拡幅工事が始まりました。今年の6月頃完了の予定です。沿線の皆さまにはしばらくご不便をおかけいたしますが、ご理解をお願いいたします。



オケちゃん駅伝競走大会開催

第6回オケちゃん駅伝競走大会が2月9日、城山公園グラウンドを中心にして開催されました。風が強く凍てつくような寒さでしたが、6部に分けて62チームが元気に参加されていました。

日体大生によるタスキの渡し方、向かい風の走り方等の指導、準備運動の後、1部から競技が始まり、私は第3部のスターターをさせていただきました。



市柔道鏡開式に出席

桶川市柔道連盟・柔道友好会の鏡開式が1月12日、桶川サンアリーナ柔道場で開催され、地元選出の県議会議員として出席しました。



岡地まさる 県政事務所

〒363-0026 埼玉県桶川市上日出谷42-73
Tel. 048-780-2982 / Fax. 048-780-2983

ポスティング作業など、お手伝いいただける方を募集しています。詳しくは岡地まさる県政事務所へお問い合わせください。



埼玉県議会議員

岡地まさる 県政報告

信頼と責任

2020年 夏号

岡地まさる県政事務所

桶川事務所

桶川市上日出谷42-73

TEL.048(780)2982

FAX.048(780)2983

発行 埼玉県議会自由民主党議員団

県議会6月定例会

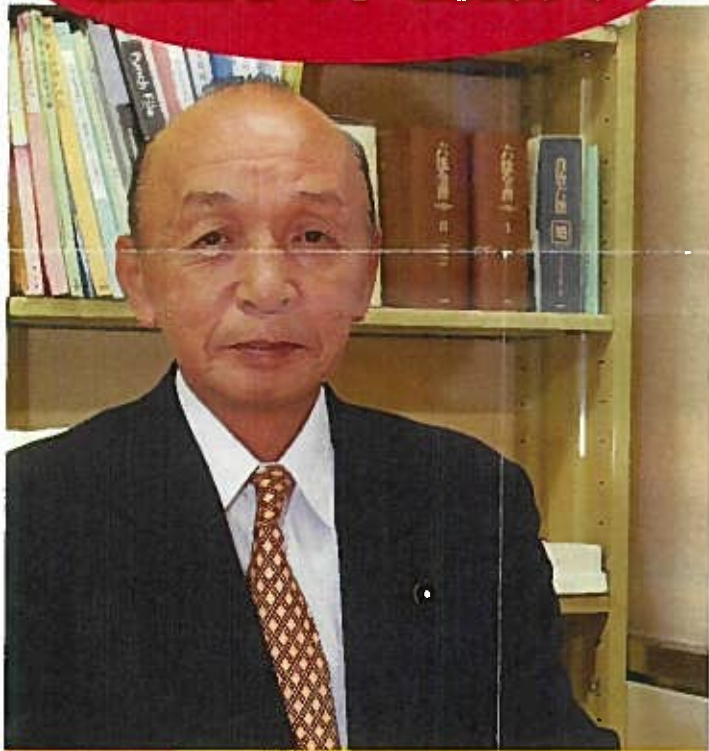
新型コロナウイルス感染“第2波”に備え体制強化へ

一般会計
補正予算

【第5号】 約 **107億4,118万円**

【第6号】 約 **1,484億4,435万円**

過去最大規模の
補正予算を議決!!



今年度の
主な役職 埼玉県議会 自由民主党議員団 副団長
経済・雇用対策特別委員長

県議会6月定例会は6月15日から7月3日にかけて開催し、新型コロナウイルス感染症拡大防止策と第2波への備えを盛り込んだ一般会計補正予算【第5号】107億4,118万1千円及び【第6号】1,484億4,435万9千円の計上等を議決しました。

その内訳は、【第5号】補正予算は、民間によるPCR検査体制のさらなる充実と30分で結果が分かる抗原検査の導入等に30億3,901万3,000円、中小企業に対する支援として「新型コロナウイルス感染症対応資金^{※1}」及び「経営安定資金^{※2}」の融資枠を拡大するために56億2,690万円、さらに、子供たちの学びの機会を確保するため、県立学校のICT環境の早期整備のために9億3,192万9,000円が計上されています。

【第6号】補正予算は、6月12日に成立した国の第2次補正予算に対応したもので、新型コロナの入院患者を受け入れる医療機関の空き病床に対し1日上限30万1千円を助成する事業が盛り込まれています。その他、クラスター化防止のため、感染症専門医などによる4人1組の「COVMAT(コロナ対策チーム)」を設置する事業に約1億1,509万円、県内の中小企業や個人事業主を対象とした家賃支援に約120億2,354万円が計上されています。

6月定例会ではさらに、本会議場での3密を防ぐため、採決時以外は出席議員を3分の2にし、3分の1の議員は別室で審議をする体制にした他、私たち自民党県議団が提案した、県の新型コロナウイルス対策を検証するための特別委員会の設置を決めています。

※1 = 埼玉県新型コロナウイルス感染症対応資金については、埼玉県庁産業労働部金融課 企画・制度融資担当 ☎048-830-3801 へご相談ください。
※2 = 経営安定資金はじめ、経営あんしん資金、緊急借換資金については、地元の商工会議所・商工会、またはお取引のある金融機関へご相談ください。

中小・小規模事業者等への資金繰り支援

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う資金需要への対応

制度融資枠の更なる拡大 8,000億円 ⇒ **1兆2,000億円**

(1) 新型コロナウイルス感染症対応資金の拡充		【参考】これまでに実施した主な資金繰り支援策 新型コロナウイルス感染症対応資金の創設 ・国の緊急経済対策との連携により、当初3年間無利子・返済最大5年の新たな資金を創設 ・融資枠 5,000億円
◆ 融資枠の拡大	5,000億円 ⇒ 7,500億円	
◆ 資金の概要	当初3年間無利子・無担保・無保証料 融資限度額: 3,000万円	経営安定資金、経営あんしん資金の拡充 ・融資利率の引下げ(△0.5%) ・融資限度額の拡大(5,000万円→最大1億8,000万円) ・融資期間の延長(7年以内→10年以内) ・返済期間の延長(1年以内→5年以内)
◆ 融資の概要	貸付期間: 融資利率: 0.5% 保証料: 0.8% 特定事項: 融資利率: 0.6% 保証料: 0.65% 融資限度額: 最大1億8,000万円	
(2) 経営安定資金の拡充		緊急借換資金の創設 ・融資限度額: 1億5,000万円 ・融資期間: 10年以内(償還1年以内)

県立学校におけるICT環境の整備加速化

「1人1台端末」の早期実現とオンライン学習の充実

<p>・児童生徒に1人1台端末環境の整備</p> <p>1億1,675万5千円</p> <p>① 義務教育段階の児童生徒1人1台端末整備を今年度中に実施 ※高校段階の生徒についてはBYODの導入も含めて1人1台端末を実現 ② 障害のある児童生徒が、端末の使用に当たって必要となる入力支援装置を整備</p> <p>⇒ 1人1人に寄り添った深い学びの実現</p>	<p>・オンライン学習のための通信環境の整備</p> <p>6億3,832万7千円</p> <p>① 新型コロナウイルス感染症拡大等により今後起こり得る臨時休業等の緊急時にも備えた通信環境整備 ・県立学校すべてに大容量高速通信回線を新規整備 ② オンライン学習等を実施するためのカメラなど通信装置の整備 ③ Wi-Fi環境が整っていない家庭にモバイルルーター貸与</p> <p>⇒ 双方向型オンライン学習(補習学習、家庭学習)の充実</p>
---	--



自民党県議団では「Web会議推進委員会」を設け、国会議等にテレビ会議システムを導入するなど、議会内の感染拡大防止に取り組んでいます。写真はテレビ会議システムを活用して行われた「Web会議推進委員会」の様子。



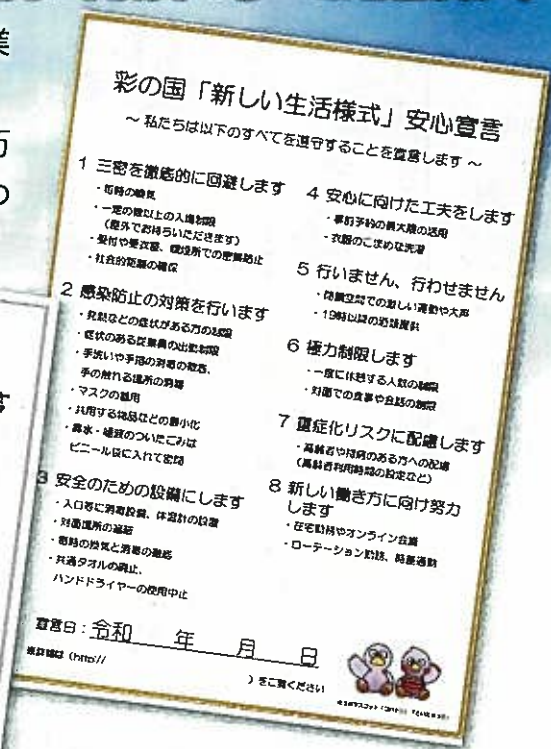
4月には臨時議会開催し事業者支援等を議決

県議会は4月30日に臨時議会を開催し、新型コロナウイルス感染症対策として、事業者支援や医療体制の強化を盛り込んだ補正予算511億781万の計上を議決しました。

これにより、4月8日から5月6日までの間に20日以上休業した事業者者に最大30万円を支援する「埼玉県中小企業・個人事業主支援金」が決まりました。同支援金については、その後、5月12日から31日までに16日以上休業した事業者に10万円を支給する追加支援策も設けています。

また医療面では、宿泊療養施設を確保するために約60億円、県衛生研究所のPCR検査機器を増設するために約9億円、陽性患者の入院を受け入れている医療機関に対し患者1人あたり25万円の協力金などを支給するための約40億円が盛り込まれています。

県はさらに、安心な県民生活を実現していくために、新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底するためのガイドライン、「彩の国「新しい生活様式」安心宣言」の取り組みを進めています。



▲「新しい生活様式」安心宣言
◀「新しい生活様式」認定書

桶川駅東口通り線、中山道整備

桶川駅東口通り線、中山道の拡幅整備工事に伴う用地買収が少しずつ進んでおり、令和2年度は80%まで用地買収を進めようとしています。

地権者の皆様にとっては、移転や改築など生活環境が変わる大変なことでございますが、ご理解を賜り、事業の進捗にご協力をいただきたいと思います。

高崎線沿線で駅前が整備されていない駅は桶川市のみとなっておりますので、待ったなしの課題だと思っています。一日も早く安心、安全に人も車も通行できる道路になるよう願っています。



視察

江川調整池整備事業の進捗状況を視察

6月上旬から遮水矢板の打ち込み工事始まる

視察

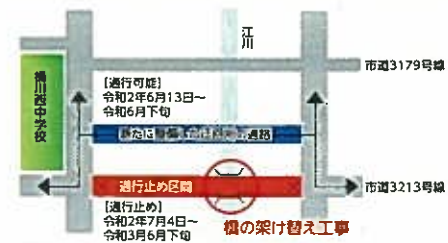
江川調整池の遮水矢板工事が、6月上旬から9月30日までの期間で実施されます。

矢板(長さ22.1m)を打ち込むことにより、地下からの水が調整池の中に入らないようにするための工事です。今年は118枚を打ち込み、最終的には外周全部を工事することになります。遮水矢板工事が完成すれば、現在のように常時、調整池に水が溜まっている状況は無くなるということです。今年度はその他、水管橋移設のための設計等が予定されています。

県道川越栗橋線が洪水発生時に冠水している状況を見ると、一日も早く完成することが望まれます。今後も予算の確保に努めてまいります。

桶川西中学校南側の橋の通行止めについて

■通行止め期間:令和2年7月4日～令和3年6月下旬■



桶川西中学校南側の道路(市道3213号線)の江川を渡る橋の架け換えにとともに、橋が通行止めとなります。

新たに北側に迂回用道路(橋)が整備され、6月13日から通行可能となりました。工事期間中、迂回用道路(橋)のご利用をお願いします。



◀5月31日撮影



▲写真は4月22日に撮影した工事の様子。道路(市道3213号線)をかさ上げして桶川西中学校南側の江川を渡る橋を広くして架け換えをするという事で、そのため通行に影響がないよう、迂回用道路(橋)の建設工事が進められていました。

コラム

日本人の高い衛生意識とマスク文化が、新型コロナウイルス感染拡大を防いだ一因とも言われています。外から帰ったら、手洗いうがいは子どもの頃からの習慣という方が多いのではないのでしょうか。とは言え今回の新型コロナウイルス感染防止対策によって、生活様式や働き方の見直しを余儀なくされました。

密閉・密集・密接の回避、社会的距離(ソーシャルディスタンス)の確保、こまめな換気と日々の健康チェック、マスク着用などなど。新たな習慣に馴染めなかつたり、煩わしさを感じたり、いつまで続くのか不安で心が折れてしまうこともあるのではないのでしょうか。

心の健康は人との会話によるものが大きいと思います。①少し距離をおきマスクをして会話をします。②いったん会話を控えてマスクを外し、こまめに水分補給する。③暑さをあまり我慢せずマスクを外して会話を控える。このようにマスクを上手に使いましょう。

これから暑くなると熱中症への注意も必要となり、日々の体調管理がますます重要です。「うつらない」「うつさない」ための自分流のスタイルを確立しながら、引き続き注意をしてまいります。



埼玉県議会議員

岡地まさる 県政報告

信頼と責任

2020年 秋号

岡地まさる県政事務所

桶川事務所

桶川市上日出谷42-73

TEL.048(780)2982

FAX.048(780)2983

発行 埼玉県議会自由民主党議員団

県議会9月定例会報告

新型コロナ専用仮設病棟の整備に着手

一般会計補正予算

【第7号】 **877億4,996万2千円**

【第8号】 **21億3,961万1千円**

【第9号】 **414億7,054万5千円**

前回補正に次ぐ大型補正予算で体制強化へ

県議会9月定例会は9月24日に開会し、一般会計補正予算【第7号】877億4,996万2千円、【第8号】21億3,961万1千円、【第9号】414億7,054万5千円の計上などを議決し、10月14日に閉会しました。(一般会計補正後累計 2兆3,083億9,014万4千円)

新型コロナウイルスの感染が警戒を要するレベルで続く中、補正予算【第7号】では専用医療施設の整備をはじめとする入院医療機関の体制強化のため、690億9,323万3千円の計上を決めました。具体的には、新型コロナウイルス感染患者専用の仮設病棟を運営する医療機関を公募し、その医療機関の敷地内や隣接地にプレハブを建て、約320床を確保していく計画です。また、入院医療機関への支援はもとより、人工呼吸器やECMO(エクモ)等の設備整備への支援もさらに強化していきます。

その他、県内景気が急速に悪化していることから、経済活動の回復と「新しい生活様式」への対応として、観光関連事業者への支援や中小企業のオンラインでの販路開拓への支援策等に6億89万3千円の予算が盛り込まれています。

季節性インフルエンザの流行期に備えるため

高齢者のインフルエンザワクチンを無償化へ



補正予算【第8号】では、新型コロナウイルスに感染すると重症化するリスクの高い高齢者などを対象に、インフルエンザのワクチン接種を無償化するために、21億3,961万1千円の予算計上を決めました。

無償化の対象となるのは65歳以上の高齢者と60歳~64歳の基礎疾患のある方などです。インフルエンザの流行がピークとなる1月~2月頃に備えるため、期間は10月~12月としています。



▲県議会9月定例会では一般質問を行いました。本号では2頁以降に質問の概要を掲載しましたので、どうぞ一読ください。皆さまのご感想やご意見、県政に対するご要望などを頂けると幸いです。

今年度の所属委員会

環境農林委員会

経済・雇用対策特別委員会 (委員長)

かかりつけ医での診療・検査体制を整備へ

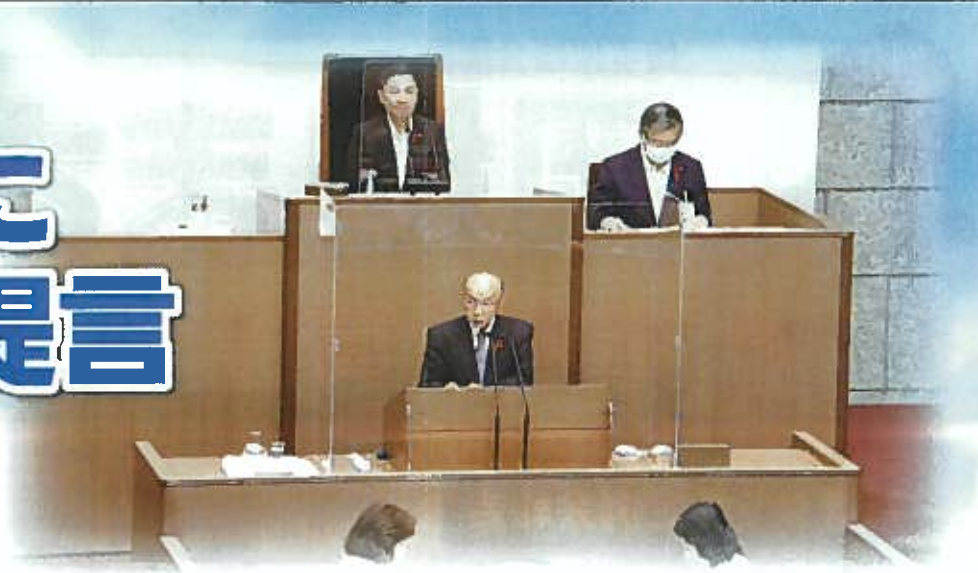
補正予算【第9号】では、身近な医療機関で新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの両方を診療・検査できる体制の整備をはじめ、重点医療機関の病床確保に対する助成費の増額、抗原検査費用の増額、生活福祉資金の特例貸し付け事業への補助金の増額など、414億7,054万5千円が計上されています。

新型コロナに関しては、これまで保健所に設置されている「帰国者・接触者相談センター」で対応していましたが、これからは発熱などを訴え、新型コロナかインフルエンザかの判断が難しい患者が増えると予想されるため、地域のかかりつけ医を窓口とすることで、より多くの患者に対応して検査できるようになります。なお、両方を診ることができる医療機関は、県が地域の医師会と協議の上指定し、随時発表しています。

一般質問(令和2年10月6日)

県施策の課題について質問・提言

県議会9月定例会では一般質問を行い9項目10件について、県施策の課題について質問・提言などを行いました。その主な内容をご報告します。ご意見やご感想などをいただければ幸いです。



非常時のパニック買い対策について

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う品不足や価格上昇に対し、県はどのような対策を取ったのか伺いました。

県は「まずラジオやチラシなどで、消費者に落ち着いた行動を促した」、また「マスクや米、パンなど7品目について、消費動向に知見を持つ方22人を価格監視員に委嘱し、全圏域で継続的に監視活動を行い、寄せられた情報を元に立入調査を実施し、12事業者に指導を行った」と説明。

今後については、「消費者の落ち着いた行動、適正な商品監視、違法・不当な販売への厳正な指導・処分の3点が重要であり、消費者に対しては消費生活講座など様々な機会を捉えて情報を提供していく」との答弁がありました。

非常時でも必要な物を、必要なとき、最低限必要な分だけでも手に入れられるよう、「パニック買い」を防止することはできないものではないでしょうか。今後も県執行部と一緒に検討していきたいと思っております。

新型コロナウイルス感染症対策と災害対策(避難対策について)

台風第10号では、17万人を超える方々が避難した一方、新型コロナ対策として密集を防ぐため、避難所が満員となるケースが相次いだと聞いています。この経験を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の終息の目的がつかない状況下での避難対策に、どのように取り組むのか伺いました。

県は「台風第10号の経験から、避難場所の確保をはじめ、より細やかな対策の

必要性を認識している。県内には学校や公民館のほか、大型商業施設の活用などを進めている市町村もあり、そのような取り組みを他市町村にも広がるよう情報提供していく。ホテルや旅館などを活用する取り組みも、確実に機能するよう県の連絡調整体制を強化する」との回答がありました。また、「避難所運営の専門家を招き、グループ討議などを交えた参加型の研修会を開催していく」とのことでした。

小中学校におけるICTを活用した教育に対する支援について

国のGIGAスクール構想を踏まえて進められているICT活用の推進について、自治体間の格差が生じないよう、県は市町村に対してどのような支援をするのか伺いました。

県は「9月に『ICT教育ガイドライン』を策定し、教員の指導力向上に努めている。今後はワーキンググループを設置し、先進自治体の取り組みなどを全市町村

で共有し活用するなど、小・中学校におけるICT活用を支援していく」との答弁でした。また、専担組織を作り取り組んでいくことについて、「現状は各所管課において他の業務と並行して担当しており、専担組織の設置を視野に、体制の強化について検討し、ICT教育の充実に努めていきたい」との説明がありました。

献血者確保のための取組について

新型コロナ拡大により、4月の献血計画人数を下回ったとの報道もあり、献血の現在の確保状況と今後について伺いました。

献血の確保状況については「5月以降は目標量の95%に改善し、8月には106.5%に回復している」との報告でした。今後の確保については、これまでの取

組みのさらなる充実を並べる程度で、新たな取り組みなどの答弁はありませんでした。

献血者確保は今後益々重要な課題になってくると考えています。提言も含め、県に働きかけていかなければと思います。

地元問題

(1)一級河川江川の浸水被害軽減策について

令和元年東日本台風で道路冠水により長時間通行止めが発生した県道川越栗橋線の被害軽減策について伺いましたところ、県は「現在道路の嵩上げを検討しており、測量を実施したところ。早急に嵩上げの高さを決定し、対策工事を進めたい」との回答がありました。

江川の調節池事業の進捗状況と今後の見通しについては、「令和2年9月時点で全体の約23%の掘削が完了。周囲から地下水の侵入を防ぐ遮水矢板の設置工事を進めるとともに、調節池の南側にある既存の市道橋の架け替えを実施している。引き続きスピード感をもって整備を進めていく」との説明がありました。



▲江川改修促進協議会(会長:小野克典桶川市長)は8月19日、関係各市の参加のもと、県への要望活動を行いました。昨年の台風19号発生時も県道川越栗橋線が冠水し、2日間通行止めになりました。最近では毎年被害が出ている状況もあり、早期の改修を強く求めています。

(2)県道桶川停車場線の整備について

現在の進捗状況と、今後の見通しについて伺いましたところ、「現在の用地買収率は55%。用地が取得できた箇所から仮舗装を行い、暫定的な歩行空間の確保を行っている」「令和2年度は電線類の地中化に係る予備設計を行っている。引き続き早期の道路拡幅整備に向けて、用地の取得に努めていきたい」との説明がありました。

コラム

新型コロナウイルスの感染拡大が人々の価値観を大きく変えつつあるように思います。このウイルスの厄介な点は、無症状や軽傷の人でも他の人に感染を広げてしまう可能性があるということです。自らを守るだけでなく、自らが周りに感染を拡大させないことが不可欠で、一人ひとりの心がけが何より大切です。具体的には、マスクの着用と手洗いがいの習慣づけ。人混みをできるだけ避けて、人とは一定の距離をとり、会話の際は真正面を避けることなどが挙げられます。

有効なワクチンや治療薬の開発が進み終息するまでは、新型コロナウイルスとの共存を前提に日常生活における対策や対応がたいへん重要です。新しい生活様式に順応し取り入れながら、自身と大切な人を守ってまいりましょう。

一般質問全項目(県議会9月定例会/令和2年10月6日)

- 1 非常時のパニック買い対策について……………(県民生活部長)
- 2 新型コロナウイルス感染症対策と災害対策
 - (1) 避難対策について……………(危機管理防災部長)
 - (2) 災害ボランティア不足への対応について……………(福祉部長)
- 3 県職員の兼業について……………(知事)
- 4 放課後児童クラブに対する支援について……………(福祉部長)
- 5 小中学校におけるICTを活用した教育に対する支援について……………(教育長)
- 6 献血者確保のための取組について……………(保健医療部長)
- 7 狂犬病予防注射の接種率向上について……………(保健医療部長)
- 8 歩車分離式信号機について……………(警察本部長)
- 9 地元問題……………(県土整備部長)
 - (1) 一級河川江川の浸水被害軽減策について
 - (2) 県道桶川停車場線の整備について



埼玉県議会議員

岡地まさる 県政報告

信頼と責任

2021年 冬号

岡地まさる県政事務所

桶川事務所
桶川市上日出谷42-73
TEL.048(780)2982
FAX.048(780)2983

発行 埼玉県議会自由民主党議員団

県議会12月定例会報告

時短協力金として約19億4,283万円 補正予算【第11号】 債務負担行為及び繰越明許費 補正予算【第10号】

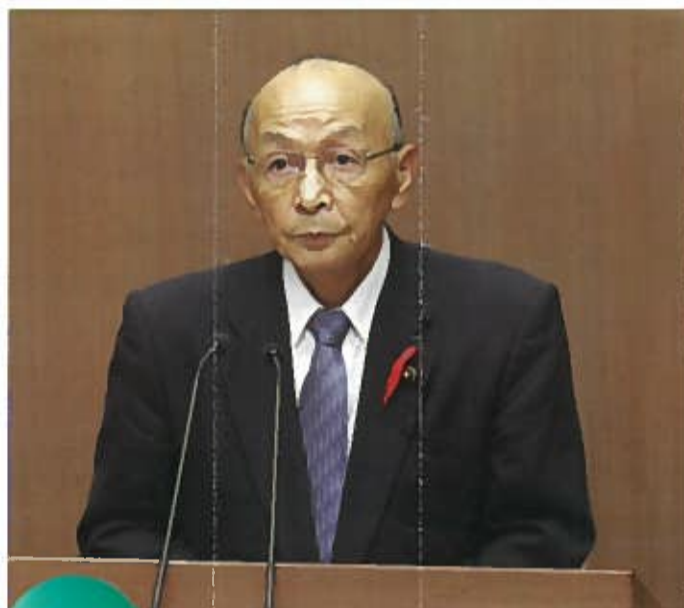
県議会12月定例会は11月30日から12月18日にかけて開催され、補正予算【第10号】【第11号】をはじめ県立4病院の地方独立行政法人化を進めるための条例等を議決しました。

補正予算【第11号】19億4,283万2千円は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う飲食店等(対象:さいたま市大宮区、川口市、越谷市)への営業時間短縮要請(第1期:12月4日~17日)に対して、全期間協力した店舗に協力金32万円を支給するためのものです。県はさらに時短期間の延長(第2期:12月18日~27日)と、全期間協力した店舗に協力金40万円を追加支給することを12月15日に発表しました。

なお補正予算【第11号】に関して、私たち自民党県議団は『科学的根拠を生かした新型コロナウイルス感染症対策を求める決議』を提案し、付帯決議として議決しています。

補正予算【第10号】は、債務負担行為(限度額:48億5,934万円)及び繰越明許費(65億5,035万4千円)の設定です。債務負担行為の設定とは、来年度の頭に支出できるよう設定し、来年第1四半期の工事量を確保するためのものです。これによって、例えば年度末に道路工事が集中するといった状況を防ぐことができます。また、関係機関との調整に不測の日数を要した事業などについて、繰越明許費を設定することで適切な工期を確保することができます。

その他、県立4病院(循環器・呼吸器病センター、がんセンター、小児医療センター、精神医療センター)の地方独立行政法人化を進めるための条例を制定しました。4病院の法人化によって、これまで以上に県民の生命と健康を支える医療機関となるよう、しっかり見ていきたいと思えます。



今年度の所属委員会

環境農林委員会
経済・雇用対策特別委員会(委員長)

盗撮対策を強化へ!

県迷惑行為防止条例を一部改正

自民党議員団「迷惑行為防止条例の一部改正検討プロジェクトチーム」で検討を進めていました「埼玉県迷惑行為防止条例」の一部改正について、12月定例会において提案を行い、議決・成立しました。

近年のスマートフォンの普及によって、公共の場や乗り物の中とは断定できない場所での盗撮事件が増えており、これまで「公共の場や乗り物内」に限定していた規制場所について、学校や事務所、住宅等も加えたほか、カメラを向けたり設置する行為も規制の対象と決めました。なお、施行は令和3年4月1日からです。

地域の病院・診療所で診療可能に 新型コロナ&インフル医療機関を公表

県は、発熱患者が迷わずに地域の医療機関等で受診することができるよう、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ両方の診療・検査を行うことができる医療機関を「埼玉県指定 診療・検査医療機関」として指定、公表しています。指定 診療・検査医療機関は、「埼玉県指定 診療・検査医療機関検索システム(下記アドレス)」から検索してください。

<https://flu-search.pref.saitama.lg.jp/>

- 他の症状の患者と接触しないように発熱患者専用の受付時間を設定しています。必ず事前に電話連絡をしてから受診してください。
※事前連絡をしないで医療機関に行っても、受診できないことがあります。
- 検査は、医師が必要と認めた場合に限り行われ、漠然とした不安がある、陰性証明がほしいという理由での検査はできません。
- 診療のみを行い、検査は連携する医療機関等へ引継ぐものも言われています。
- 受診の際はマスクを着用し、医療機関の指示に従ってください。
- 公共交通機関の利用を控えて受診してください。

※かかりつけ医がない方は [埼玉県受診・相談センター\(048-762-8026\)](tel:048-762-8026)へ
※夜間や休日・緊急時には [県民サポートセンター\(0570-783-770\)](tel:0570-783-770)へ

■受診先の確認・受診を迷う場合

埼玉県受診・相談センター

TEL: 048-762-8026 FAX: 048-816-5801
受付時間: 午前9時~午後5時30分 月~土(祝日含む)

■受診先の確認・一般的な質問

県民サポートセンター

TEL: 0570-783-770 FAX: 048-830-4808
受付時間: 24時間年中無休

第二産業道路要望活動

第二産業道路建設促進期成同盟会(会長:畠山稔上尾市長)による要望活動を、小野桶川市長、大室上尾議長、仲又桶川副議長等にご参加をいただき、11月19日に行いました。

国道17号等の慢性的な渋滞を緩和し、主要幹線道路として効率的な道路環境の確保、地域の活性化などを目的に整備事業が進められていますが、予算の確保及び事業の着実な推進を求めています。一日も早い完成を願っています。

県土整備部長(左)に要望書を手渡す畠山稔上尾市長(右)



第41回九都県市合同防災訓練に参加

第41回九都県市合同防災訓練が11月1日、川口市のスキップシティで菅首相も参加して開催されました。毎年9月の防災の日前後に開催されていましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で11月に延期されたものです。



マスク着用、手指消毒、観覧席は2m四方に椅子1脚など、感染防止対策もしっかり行われていました。

また、FM川口が大型スクリーンを導入し、陰で見えない訓練も見えるよう配慮されていたほか、ネット配信も行われていました。防災訓練も新しい形に変わってきたと感じた訓練でした。

桶川市消防団特別点検



桶川市消防団特別点検が11月23日、桶川小学校で開催され、地元選出の県議として出席しました。

コロナ禍のため、例年より規模を縮小し時間を短縮して行われました。しかし、団員の皆さんの点検の成果を拝見し、たいへん頼もしく感じました。

靖国神社、桶川飛行学校平和祈念館を視察

県議会英霊にこたえる議員連盟は11月16日、靖国神社及び桶川飛行学校平和祈念館を視察しました。



桶川飛行学校平和祈念館では、小野桶川市長、糸井市議会議長の出迎え、歓迎のあいさつをいただいた後、館内を丁寧に説明していただきました。

地方たばこ税を活用した分煙環境整備を要望

県たばこ商業協同組合(会長:高沢啓氏)が、分煙環境整備に関する要望書を大野知事に提出しました。受動喫煙防止を推進するため、地方たばこ税の一部を活用して公共喫煙所の整備をはじめ、飲食店などが屋内喫煙室を設置する際の助成など、分煙社会の実現を求めています。



大野知事(右)に要望書を手渡す高沢啓会長(左)

2019年度の地方たばこ税の税収は、埼玉県全体で528億円あり、その内、県には74億円、桶川市には3億8,000万円が一般会計に入っています。マナーを守って、たばこを吸わない方に迷惑をかけないように楽しんでいただきたいと思います。

桶川市表彰式典が開催されました

令和2年度「桶川市表彰式典」が11月7・8日の2日間、桶川市東公民館で開催されました。

技能功労者、スポーツ功労者、青少年文化活動等において功労のあった方々に、表彰状や顕彰状が手渡されました。



屋内50mプールの水上公園整備を知事に要望

上尾市、桶川市、北本市、鴻巣市、伊奈町の首長・議長が中心となり、上尾市のさいたま水上公園内に埼玉県初の屋内50mプールを整備するよう求める要望書を8月27日、大野知事に提出しました。

県央地域は県内外からのアクセスに優れており、同公園の周辺には上尾運動公園や県立武道館、埼玉アイスアリーナなどが整備されていることから、屋内50mプールが整備されれば、総合スポーツ拠点としての賑わいの創出が期待されます。



コ・ラ・ム

この一年、これまで経験したことのない環境下で生活を送る中、聞こえてきた言葉は「巣ごもり生活」です。消費の傾向にも変化がありました。衛生用品や洗浄用品は勿論のこと保存食の需要が増え、デリバリーやテイクアウトの利用も多くなりました。とはいえ、コミュニケーションも大切です。オンライン飲み会やビデオ通話など、非対面のコミュニケーションも浸透しました。なかでも自宅等でのリモートワークやリモート会議の導入は、社会に大きな変化をもたらしました。都市部から郊外への転居もそのひとつであり、埼玉県でも転入者が増えました。

一方、医療や介護施設の現場で、懸命に働いている方がいることを忘れてはいけません。ましてや、その方たちへの差別などあってはなりません。政府は、来年6月までに全国民に提供できるワクチンの確保を目指しています。一日も早い安心で安全なワクチンの入手が望まれます。



埼玉県議会議員

岡地まさる 県政報告

信頼と責任

2021年 春号

岡地まさる県政事務所
桶川事務所
桶川市上日出谷42-73
TEL.048(780)2982
FAX.048(780)2983

発行 埼玉県議会自由民主党議員団

県議会2月定例会報告

令和3年度予算

2兆1,393億6,522万円(一般会計)

県議会2月定例会は、県政史上最大となる当初予算（一般会計：2兆1,198億4,300万円）および補正予算（一般会計：195億2,222万円）等を議決し、3月26日に閉会しました。

新型コロナウイルス感染症対策としては、ワクチン接種体制の整備や病床確保のための医療機関への補助（約1,000億3,542万円）をはじめ、介護・障害者福祉サービス等への支援や飲食店等への支援などが盛り込まれています。

約444億円の令和2年度2月補正予算も計上

2月定例会では、13か月予算により切れ目なく事業を継続させるため、444億2,360万6千円の令和2年度2月補正予算を、これは急施を要するとして3月2日に議決しました。これにより、インフラ整備が年度で途切れず実施され、特に流域治水対策事業については3年度予算と補正予算合わせて280億3,950万円となり、調節池の整備や河道拡張などの治水対策が加速化して進められることになりました。

埼玉県議会

副議長に就任



この度、議員の皆様のご推挙により副議長の要職に就任させて頂きました。愛する郷土埼玉県のため、県民の皆様が安心安全に暮らすことができるよう、その重責を果たして参ります。

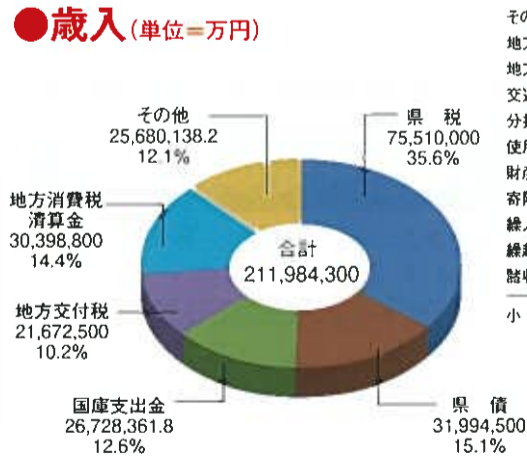
今年度の所属委員会

環境農林委員会
経済・雇用対策特別委員会(委員長)

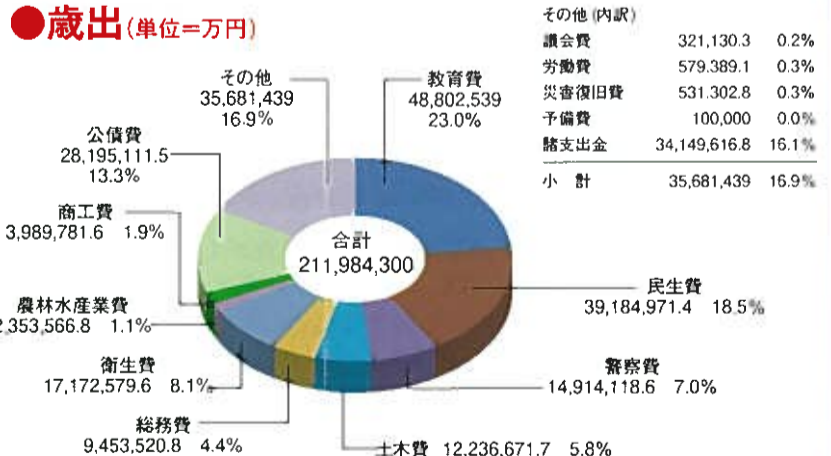
埼玉県議会議員 岡地 優

令和3年度埼玉県当初予算(一般会計)

●歳入(単位=万円)



●歳出(単位=万円)



全国初、エスカレーター安全条例を可決!

私たち自民党県議団が2月定例会で提案しました「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」が可決・成立しました。施行は周知期間を設け令和3年10月1日としました。

本条例は、エスカレーターを利用する者は立ち止まって利用することを義務と規定しています。また、エスカレーターを管理する事業者には周知徹底を、県にも啓発の推進などを求めています。

エスカレーターを歩くことは重大な事故につながりかねません。条例化で状況を少しずつ改善していきたいと考えています。



副反応等の専門相談窓口

新型コロナのワクチン接種は医療従事者から始まり、4月からは高齢者(65歳以上)、その後基礎疾患を有する方や高齢者施設等の従事者、その他の方々へと順次行われる予定です。(地元の市町村から接種券が配布され、費用は国が負担するため無料です。)

県は副反応等に係る専門相談窓口を開設しました。専門的な知識を有する看護師や医師などが24時間体制で相談に応じます。今後も県民の皆様が安心して接種できる体制を整えてまいります。

■専門相談窓口: 0570-033-226(ナビダイヤル)
※土日祝含む24時間対応

※接種券に関することや接種の方法等については、地元の市町村の相談窓口にお問い合わせください。

桶川市内の主な県事業

令和3年度、地元・桶川市内において予算が確保できました主なインフラ事業です。

地元事業箇所(県土整備部) (令和3年度当初予算)

東奔西走、日々全力

路線名等	事業名等	事業概要
① 駅東口通り線	街路整備	L=278m、W=6.0(20.0)m
② 駅東口通り線	街路改良事業	L=278m、W=6.0(20.0)m
③ 蓮田鴻巣線	自転車歩行者道整備	歩道整備
④ 蓮田鴻巣線	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業	歩道整備
⑤ 川越栗橋線	交差点整備	交差点改良(W=33m、L=60m)
⑥ 川越栗橋線(加納)	舗装道整備	舗装修繕(W=6.4m、L=600m)
⑦ 川越栗橋線(川田谷)	舗装道整備	舗装修繕(W=14.5m、L=270m)
⑧ 行田蓮田線	舗装道整備	舗装修繕(W=6.78m、W=370m)
⑨ 太郎右衛門橋(川越栗橋線)	橋りょう修繕	ひび割れ補修、断面補修
⑩ べにばな陸橋(川越栗橋線)	橋りょう修繕	橋脚補強、落橋防止
⑪ 江川	河川改修	測量設計



令和2年度2月補正予算(国補正分)

路線名等	事業名等	事業概要
補① 行田蓮田線	社会資本整備総合交付金(維持)事業	舗装修繕
補② 蓮田鴻巣線	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業	歩道整備
補③ 太郎右衛門橋(川越栗橋線)	社会資本整備総合交付金(橋りょう維持)事業	ひび割れ補修、断面補修
補④ 江川	社会資本整備総合交付金(河川)事業	調節池整備工、水道管移設負担金

拉致被害の早期解決を求め 街頭署名活動

拉致解決を求める街頭署名活動を「北朝鮮に拉致された日本人を救出する埼玉の会」の皆さまと「北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を図る埼玉県議会議員連盟」合同で行いました(12月13日/JR浦和駅前)。

大野元裕知事に加え、三ツ林裕巳内閣府副大臣、牧原秀樹衆議院議員も参加され、早期解決のため世論を盛り上げようと強く訴えました。

一日も早く拉致された皆さまが帰ってくることを願っております。



坂田八雲神社の改修が完了

坂田八雲神社(坂田地内)の参道や境内の改修が完了しました。県道川越栗橋線の拡幅工事に伴い、神社の入り口や階段等の改修を進めておりましたが、今年の初詣に間に合うかたちで工事が完了しました。これまでご近所の皆さまにはご不便を



をかけておりましたが、安全に通行できるようになりました。崇敬者の皆さまにも喜んでいただけたと思います。



◀歩道が整備され、神社の前を安心して行き来できるようになりました。

坂田西特定土地区画整理竣工記念式典

桶川市坂田西特定土地区画整理竣工記念式典が1月16日、谷津谷遺跡公園に於いて挙行されました。コロナ禍という事もあり、役員のみで簡素に実施させていただきました。

区画整理組合は平成5年に設立されましたが、時期を同じくしてバブル経済が崩壊し、途中で大幅な事業計画の見直しを余儀なくされるなど、苦難の道を歩きました。しかし桶川市とともに勉強会や視察を重ねて理解を深め、平成31年2月に換地処分を行い「坂田西」という新たな「まち」を

誕生させることができました。これで次世代の方々にも喜んでいただける、住みやすい地域に生まれ変わったのかなと思います。関係者の皆さまに心より感謝を申し上げます。



※写真撮影のため、一時的にマスクを外しています。

屋内50mプール整備を知事に要望

県央地域の上尾商工会議所はじめ桶川、北本、鴻巣、伊奈の商工会長の皆さまが県庁を訪れ、上尾市の県営さいたま水上公園に屋内50mプール及びスポーツ科学拠点施設を整備するよう、大野知事に要望しました(12月25日)。

上尾市には上尾運動公園、さいたま水上公園、武道館、屋内スケートリンクなど、スポーツ施設が集積しており、実現すれば全国に誇る総合スポーツ拠点地域となります。また、子どもたちが水に親しんだり、健康増進にも利用できる、近隣の私たちにとっても有意義な施設となります。



※写真撮影のため、一時的にマスクを外しています。



自民党県議団ニュース

埼玉県議会自由民主党議員団



県民ニーズを的確に捉え、県政をリードする自民党県議団!



所属議員：長峰宏芳 小谷野五雄 小島信昭 齊藤正明 宮崎栄治郎 本木茂 小林哲也 田村琢実 高橋政雄 岩崎宏 神尾高善 諸井真英 木下高志 中屋敷慎一 梅沢佳一 新井一徳 須賀敬史 中野英幸 武内政文 齊藤邦明 小川真一郎 白土幸仁 岡地優 荒木裕介 新井豪 立石泰広 小久保憲一 日下部伸三 永瀬秀樹 細田善則 岡田静佳 内沼博史 横川雅也 飯塚俊彦 浅井明 宇田川幸夫 松澤正 吉良英敏 美田宗亮 藤井健志 木下博信 関根信明 宮崎吾一 高木功介 松井弘 渡辺大 千葉達也 山口京子 逢澤圭一郎 高橋稔裕(以上50名)



県議団役員と大野知事と共に坂本大臣に要望書を提出

保育士等の処遇改善のため、坂本少子化大臣に、公定価格改善の要望を行いました!
埼玉県保育士給与は、関東近隣都県と比較して低い状況にあり、その最大の原因が人件費の原資となる公定価格(保育所運営費収入)が不当に低いことにある。また、国家公務員の地域手当の区分に準拠した公定価格を国が定めていることは、地価等が反映されていなく実態に即していません。
そこで、隣接する地域で大きな公定価格の差が生じないように、地域区分の設定方法の見直し等により、地域間格差を是正することを、坂本少子化担当大臣に要望致しました。要望に当たっては、山口代議士、三林副大臣、大野知事にも同席頂き、大野知事には埼玉県の現状説明を行って頂きました。坂本大臣からは、改善に向けた前向きな回答を頂きました。

謹賀新年
皆様にかかれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素は、埼玉県議会自由民主党議員団の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
昨年は、本県に於いても新型コロナウイルス感染症が二月から確認され、以後感染症対策に追われた一年でありました。県議会に於いても、補正予算を異例の十一度審議することで、県民のコロナ禍に於ける生活の安心に繋げて参りました。また、コロナ対策に於ける県の執行体制の検証等を行うため、自民党県議団の提案で、「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」を県議会で立ち上げ、県民の安全・安心に繋がる意見・提言を取りまとめ、知事に提出致しました。現在の県のコロナ感染症対応に活かされているものと自負しております。
この他にも、主な取り組みを紹介致します。昨年二月定例県議会に於いて自民党県議団にて提出・可決された「埼玉県ケアラー支援条例」が施行され、家族介護に従事している方々を支援する施策が始まりました。この条例は、全国初で制定・施行され、全国的にも県議会への視察など、注目を頂いております。特に、十八歳未満のヤングケアラーの実態調査が県で行われ、家族介護に従事するヤングケアラーの児童・生徒達を把握することで、今後の個別対策が推進されるものと期待しています。
また、かねてより埼玉県の懸案事項でありました、保育士等の処遇改善に関わる公定価格の改善に向け、県議団として国に要望を行いました。これは、国が定める公定価格の基準が、首都圏で埼玉県のみ基準割合が低く設定されているもので、早期の改善を求めたものであります。要望実現により、保育士等の給与水準が上がり、保育士不足の是正に繋がるものであります。今後も、時代の変化に即応できる政策に取り組みむことで、県民の側に立った県政運営を行って参ります。県民の皆様からの自民党県議団への更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。



団長ご挨拶

埼玉県議会自由民主党議員団
団長 小島 信昭

コロナ対策に全力投球!

埼玉県議会自由民主党議員団 「コロナウイルス感染症対策本部報告!」

埼玉県議会自由民主党議員団では、埼玉県の新型コロナウイルス感染症対策について、県民の安全と安心に繋がる緊急対策が重要であるとの観点から、県議団内に昨年4月の緊急事態宣言発令後すぐに、「新型コロナウイルス感染症対策本部」を立ち上げ、取り組みを進めて参りました。



大野知事に新型コロナウイルス感染症対策の緊急要望を行う県議団対策本部



厚労省の担当によるコロナ勉強会の様子

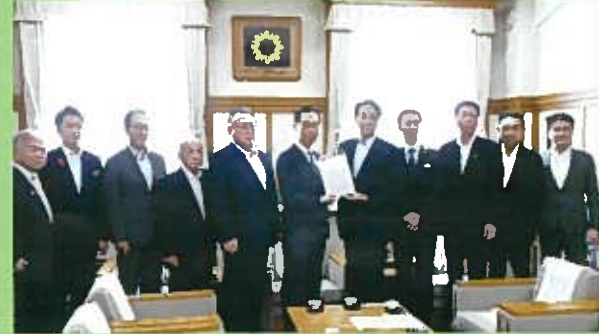
県民の皆様や医療従事者、エッセンシャル・ワーカーの方々等から寄せられた要望等を県執行部に具体的かつ迅速な対策を求めるなど、対策本部にて取りまとめました。特に、時限的な専用医療施設の整備を行う要望については、予算措置が取られ、現在、医療機関のご協力を頂きながら整備が進められているところであります。

また、緊急事態宣言中の県の対応等を検証し、今後の県のコロナ施策に活かす必要性から、埼玉県議会に「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」の設置を提案し設置致しました。県議団に於ける審議を通して「意見・提言」を取りまとめ、知事に提出致しました。

新型コロナウイルス感染症については、新しい感染症として情報が一元的ではない中、常に最新の情報を収集することで、県の対策に活かされるように取り組んでいます。常に県議団の情報共有等を図るため、勉強会や情報収集、意見交換を行っており、今後も県民の安全・安心に繋がる施策に取り組んで参ります。

「政策大綱」を提言・提案!

自民党県議団が令和三年度予算編成に関する「政策大綱」「市町村要望」を県知事に提出!



大野知事に政策大綱を提言する自民党県議団役員

自民党県議団政調会が取りまとめた「令和三年度政策大綱(合計336項目)」及び「令和三年度埼玉県予算等に対する要望(市町村要望197項目・議員要望41項目)」を、大野知事に提出し、令和三年度の埼玉県予算並びに施策の編成に反映するよう申し入れを行いました。

令和三年度の予算については、引き続きコロナ対策、ポストコロナをにらんだDXをはじめとする新しい生活様式、更には経済の再興に向けた対策や災害に強い県土づくりなどが不可欠であります。知事からは、予算編成に際しては各部署に周知を図り、検討させていただきたいと前向きな返答がありました。

県迷惑防止改正条例を可決



県議団迷惑行為防止プロジェクト・チームでの審議の様子

近年、スマートフォン急速な普及、撮影機器の高機能化、小型化に伴い、盗撮行為が社会的問題となっております。盗撮された画像データ等は、半永久的に記録され、インターネット上に流出する恐れや個人が特定されケースも少なくありません。

そこで、自民党県議団では、悪質な盗撮行為等の規制を強化することで、県民生活の平穏を図ることを目指し、プロジェクトチームを組織し、盗撮行為の規制場所、規制行為、罰則等を強化する「埼玉県迷惑行為防止条例の一部を改正する条例案」の制定に向け取り組んで参りました。

十二月定例県議会で自民党県議団が議員政策条例として提案し、可決・成立致しました。本年四月一日施行となります。

夢のある桶川を築くために!

おかち 優

埼玉県議会議員 岡地まさる

埼玉県議会自由民主党議員団 県政調査事務所

住所: 埼玉県桶川市上日出谷42-73

電話: 048-780-2982

FAX: 048-780-2983

ホームページ: <https://www.okachi-masaru.com>





小川 しんいちろう

県民が主役の政治 — 深谷市・寄居町・美里町 —

発行：埼玉県議会 自民党県議団 〒369-1101 深谷市長在家14 TEL 048-583-2074 FAX 048-583-6838

県議会6月定例会

新型コロナウイルス感染症拡大に備え体制強化へ

一般会計
補正予算

【第5号】 約 **107億4,118万円**

【第6号】 約 **1,484億4,435万円**

過去最大規模の
補正予算を議決!!



県議会6月定例会は6月15日から7月3日にかけて開催し、新型コロナウイルス感染症拡大防止策と第2波への備えを盛り込んだ一般会計補正予算【第5号】107億4,118万1千円及び【第6号】1,484億4,435万9千円】の計上等を議決しました。

その内訳は、【第5号】補正予算は、民間によるPCR検査体制のさらなる充実と30分で結果が分かる抗原検査の導入等に30億3,901万3千円、中小企業に対する支援として「新型コロナウイルス感染症対応資金^{※1}」及び「経営安定資金^{※2}」の融資枠を拡大するために56億2,690万円、さらに、子供たちの学びの機会を確保するため、県立学校のICT環境の早期整備のために9億3,192万9千円が計上されています。

【第6号】補正予算は、6月12日に成立した国の第2次補正予算に対応したもので、新型コロナの入院患者を受け入れる医療機関の空き病床に対し1日上限30万1千円を助成する事業が盛り込まれています。その他、クラスター化防止のため、感染症専門医などによる4人1組の「COVMAT(コロナ対策チーム)」を設置する事業に約1億1,509万円、県内の中小企業や個人事業主を対象とした家賃支援に約120億2,354万円が計上されています。

6月定例会ではさらに、本会議場での3密を防ぐため、採決時以外は出席議員を3分の2にし、3分の1の議員は別室で審議をする体制にした他、私たち自民党県議団が提案した、県の新型コロナウイルス対策を検証するための特別委員会の設置を決めています。

今年度の所属委員会 環境農林委員 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会(委員長)

中小・小規模事業者等への資金繰り支援

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う資金需要への対応

制度融資枠の更なる拡大 8,000億円 ⇒ **1兆2,000億円**

(1) 新型コロナウイルス感染症対応資金の拡充		【参考】これまでに実施した主な資金繰り支援策 新型コロナウイルス感染症対応資金の創設 ・国の緊急経済対策との連動により、当初3年間無利子・据置最大5年の新たな資金を創設 ・融資枠：5,000億円 経営安定資金、経営あんしん資金の拡充 ・融資利率の引下げ(△0.5%) ・融資限度額の拡大(5,000万円→最大1億8,000万円) ・融資期間の延長(7年以内→10年以内) ・据置期間の延長(1年以内→3年以内) 緊急借換資金の創設 ・融資限度額：1億5,000万円 ・融資期間：10年以内(据置1年以内)
◆ 融資枠の拡大 6,000億円 ⇒ 7,500億円	◆ 資金の概要 当初3年間無利子・無担保・無保証料 融資限度額：3,000万円	
(2) 経営安定資金の拡充		
◆ 融資枠の拡大 600億円 ⇒ 2,000億円	◆ 資金の概要 貸付利率 0.5% 保証料：0.8% 特定借換 融資利率 0.0% 保証料：0.88%	
◆ 融資限度額：最大1億6,000万円		

※1 = 埼玉県新型コロナウイルス感染症対応資金については、埼玉県庁産業労働部金融課 企画・制度融資担当 ☎048-830-3801 へご相談ください。
※2 = 経営安定資金はじめ、経営あんしん資金、緊急借換資金については、地元の商工会議所・商工会、またはお取り引きのある金融機関へご相談ください。

※【第5号】【第6号】補正予算の主な事業概要は2頁に掲載しています。

県立学校におけるICT環境の整備加速化

「1人1台端末」の早期実現とオンライン学習の充実

<p>・児童生徒に1人1台端末環境の整備</p> <p>1億167万5千円</p> <p>① 義務教育段階の児童生徒1人1台端末整備を今年度中に実施 ※高校段階の生徒についてはBYODの導入も含めて1人1台端末を実現 ② 障害のある児童生徒が、端末の使用に当たって必要となる入力支援装置を確保</p> <p>⇒ 1人1人に寄り添った深い学びの実現</p>	<p>・オンライン学習のための通信環境の整備</p> <p>6億3,832万7千円</p> <p>① 新型コロナウイルス感染症拡大等により今後起こり得る臨時休業等の緊急時にも備えた通信環境整備 ・県立学校すべてに大容量高速通信回線を新規整備 ② オンライン学習等を実施するためのカメラなど通信装置の整備 ③ Wi-Fi環境が整っていない家庭にモバイルルーター貸与</p> <p>⇒ 双方向型オンライン学習(補習学習、家庭学習)の充実</p>
---	--



自民党県議団では「Web会議推進委員会」を設け、団会議等にテレビ会議システムを導入するなど、議会内の感染拡大防止に取り組んでいます。写真はテレビ会議システムを活用して行われた「Web会議推進委員会」の様子。

「新型コロナウイルスにともなう、あなたが使ええる緊急支援」
自民党のホームページをご参照ください。→<https://www.jimin.jp/covid19/>



県議会6月定例会 補正予算【第5号】【第6号】から 主な事業をご報告します

事業名	金額(千円)	事業概要
中小企業・個人事業主等に対する家賃への支援(産業労働部)	12,023,547 【第5号】補正予算	厳しい経営状況に置かれている県内中小企業や個人事業主等に家賃支援金を支給(賃借人・賃貸人に支援)
中小企業に対する資金繰り支援(産業労働部)	5,626,900 【第5号】補正予算	県制度融資枠(新型コロナウイルス感染症対応資金と経営安定資金)を拡大
緊急小口資金等の特例貸付の実施(福祉部)	13,667,941 【第6号】補正予算	緊急小口資金等の特例貸付を継続するために必要な貸付原資を補助
介護・障害福祉サービス等に対する感染対策やサービス再開に向けた経費を補助。またサービス継続に従事した職員に慰労金を支給	29,715,945 【第6号】補正予算	介護・障害福祉サービス等を提供する事業者の感染対策やサービス再開に向けた経費を補助。またサービス継続に従事した職員に慰労金を支給
児童福祉施設等における感染拡大防止対策支援(福祉部)	2,941,564 【第6号】補正予算	感染拡大防止のための備品・衛生用品等の購入経費及び感染症対策等に関する派遣指導・相談窓口設置等にかかる経費を補助
県民相談体制の強化(保健医療部)	1,166,666 【第6号】補正予算	県民サポートセンターの継続、帰国者・接触者相談センター業務の都市医師会への委託継続等
検査体制の強化(保健医療部)	1,455,276 【第5号】補正予算 80,839,406 【第6号】補正予算	抗原検査の保険適用承認に伴う公費負担、PCR検査の民間委託及び民間検査機関のPCR検査機器整備への助成、発熱外来PCRセンターの検査体制の拡充、医療機関等への感染防護具等の追加配布、入院医療機関の病床確保等への支援、医療機関・薬局等の感染防止対策、医療従事者等への慰労金の支給等
妊産婦への総合的な支援(保健医療部)	830,982 【第6号】補正予算	妊産婦への寄り添い型支援、分娩前PCR検査費用の助成、PCR検査を実施する産科医療機関の設備整備への助成等
市町村事業への助成(保健医療部)	1,045,000 【第5号】補正予算 1,045,000 【第6号】補正予算	国からの「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を活用し市町村が実施する感染拡大防止や医療対峙の整備等へ助成【第5号】及び、負担率が国10/10に拡大されたことに伴う増額【第6号】
学校教育総合支援事業(教育局)	101,472 【第5号】補正予算 1,971,200 【第6号】補正予算	臨時休業にともなう学習の遅れを解消するため、学習指導員を配置する市町村へ補助を実施

県議会八高線・川越線沿線活性化議員連盟 知事へ橋りよりの 架け換えを要望

県議会八高線・川越線沿線活性化議員連盟は6月19日、JR川越線橋りよりの架け換えに関わる埼玉県・さいたま市・川越市・JR・国土交通省の5者による正式な協議会の設置と調査費の予算計上を求める要望書を知事に提出しました。



〈埼玉新聞 令和6年6月20日付〉

**橋架け換え協議会設置を
川越 議連が知事に要望**
八高線・川越線沿線の活性化を図るため、川越市・JR・国土交通省の5者による正式な協議会の設置と調査費の予算計上を求める要望書を知事に提出しました。

人材育成・文化・スポーツ振興 特別委員長として 教育改革をいたしました

人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会は、人材育成、教育改革、文化及びスポーツの振興並びに東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に関する総合的対策について審査するのための特別委員会です。

6月定例会では教育改革をテーマに、GIGAスクール構想や特別支援教育における就労支援等について審査を行いました。



人材育成・文化・スポーツ振興特別委員長として、議会最終日の7月3日、本会議において委員報告を行いました。



小川 しんいちろう

県民が主役の政治 — 深谷市・寄居町・美里町 —

発行：埼玉県議会 自民党県議団 〒369-1101 深谷市長在家14 TEL 048-583-2074 FAX 048-583-6838

県議会9月定例会報告

新型コロナ専用仮設病棟の整備に着手 前回補正に次ぐ大型補正予算で体制強化へ

一般会計補正予算

【第7号】 **877億4,996万2千円**

【第8号】 **21億3,961万1千円**

【第9号】 **414億7,054万5千円**

前回補正に次ぐ大型 補正予算で体制強化へ

県議会9月定例会は9月24日に開会し、一般会計補正予算【第7号】877億4,996万2千円、【第8号】21億3,961万1千円、【第9号】414億7,054万5千円の計上などを議決し、10月14日に閉会しました。（一般会計補正後累計 2兆3,083億9,014万4千円）

新型コロナウイルスの感染が警戒を要するレベルで続く中、補正予算【第7号】では専用医療施設の整備をはじめとする入院医療機関の体制強化のため、690億9,323万3千円の計上を決めました。具体的には、新型コロナウイルス感染患者専用の仮設病棟を運営する医療機関を公募し、その医療機関の敷地内や隣接地にプレハブを建て、約320床を確保していく計画です。また、入院医療機関への支援はもとより、人工呼吸器やECMO（エクモ）等の設備整備への支援もさらに強化していきます。

その他、県内景気が急速に悪化していることから、経済活動の回復と「新しい生活様式」への対応として、観光関連事業者への支援や中小企業のオンラインでの販路開拓への支援策等に6億89万3千円の予算が盛り込まれています。

感染拡大期に対応した医療提供体制の整備

入院医療機関の更なる体制強化と専用医療施設の整備

拡充 入院医療機関の体制強化への助成
549億1,050万3千円

新 専用医療施設の整備への助成
37億5,400万円【債務負担行為：4億4,000万円】

◆ ピーク時病床1,400床への備え

○ 患者受入れ体制への支援

- ・ 入院患者受入れに対する協力金
- ・ 看護職員への手当助成
- ・ 病床確保のために生じる空床・休床への補償

○ 設備整備への支援

- ・ 超音波画像診断装置、血液浄化装置、人工呼吸器、体外式膜型人工肺（ECMO）など

◆ 専用医療施設による受入れ体制拡充

- ・ 病院が敷地内または隣接地にコロナ専用病棟（仮設）を整備する経費を補助
 - ・ 既存病床と別棟で新たな病床を配分
 - ・ 一般患者と分離することで、院内感染リスクを低減
- ⇒ 一般患者や手術件数の増加により、一般医療の機能回復へ



人材育成・文化・スポーツ特別委員長として委員会審議をとりまとめる（県議会9月定例会にて）

今年度の主な役職

自民党議員団 政務調査会 環境農林部会長
人材育成・文化・スポーツ振興特別委員長
環境農林委員 / 決算特別委員

季節性インフルエンザの流行期 に備えるため

高齢者のインフル ワクチンを無償化へ

補正予算【第8号】では、新型コロナウイルスに感染すると重症化するリスクの高い高齢者などを対象に、インフルエンザのワクチン接種を無償化するために、21億3,961万1千円の予算計上を決めました。

無償化の対象となるのは65歳以上の高齢者と60歳～64歳の基礎疾患のある方などです。インフルエンザの流行がピークとなる1月～2月頃に備えるため、期間は10月～12月としています。

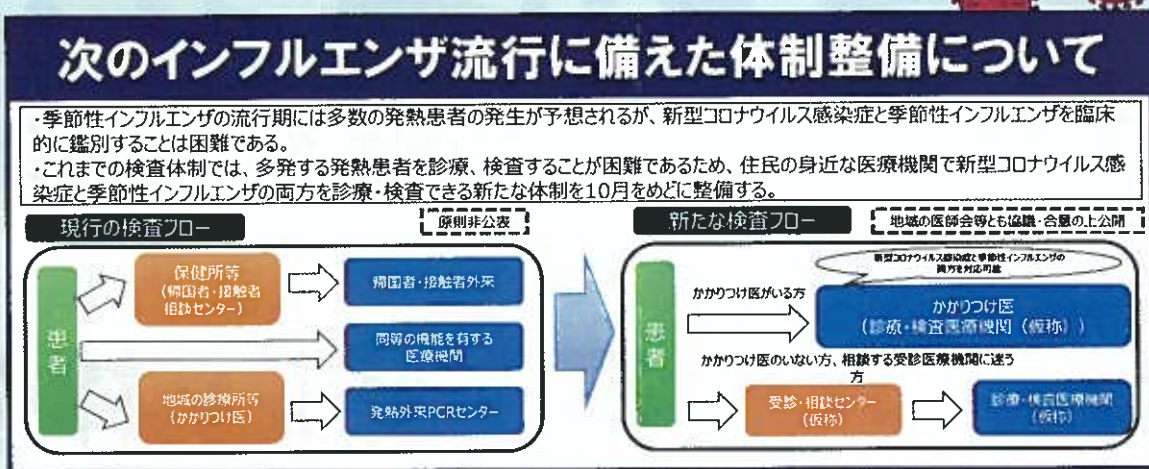


かかりつけ医での診療・検査体制を整備へ

県議会9月定例会では、季節性インフルエンザの流行期に備えるため、さらに補正予算【第9号】414億7,054万5千円の計上を議決しました。国による予備費の支出決定を受けての予算措置ですが、身近な医療機関で新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの両方を診療・検査できる体制の整備をはじめ、重点医療機関の病床確保に対する助成費の増額、抗原検査費用の増額、生活福祉資金の特例貸し付け事業への補助金の増額が盛り込まれています。

新型コロナに関しては、これまで保健所に設置されている「帰国者・接触者相談センター」で対応していましたが、これからは発熱などを訴え、新型コロナかインフルエンザかの判断が難しい患者が増えると予想されるため、地域のかかりつけ医を窓口とすることで、より多くの患者に対応して検査できるようになります。なお、両方を診ることができる医療機関は、県が地域の医師会と協議の上指定し、随時公表していきます。

県の財政状況も厳しくはありますが、引き続き新型コロナウイルス感染症対策に全面的に取り組んでまいります。皆さまのご指導・ご鞭撻をより一層賜りますようお願いいたします。



活動 赤い羽根共同募金 活動に参加

県議会社会福祉推進議員連盟の一員として、10月1日に行いました赤い羽根共同募金駅頭奉仕活動に参加しました。今年、新型コロナウイルス感染拡大下の新たな取り組みとして「赤い羽根」、「メッセージカード」、「マスク」を封入したセットを配布し、募金へのご協力を呼び掛けました。

防犯訴え 街頭キャンペーン

県議会防犯まちづくり推進議員連盟として10月12日に実施しました、街頭キャンペーンに参加しました。県内で罪種別認知件数が最も多い自転車盗に関する被害防止グッズを、大野知事や議連の皆さんと配布させて頂きました。



新しい生活様式

新型コロナウイルスの感染予防のためには「新しい生活様式」を心掛けることで、感染症の拡大を防ぎ、自分の、みんなの「命」を守ることにつながります。

基本1	基本2	基本3
社会的距離の確保 離れて お並びください	マスクの着用 マスク着用 (食事中以外)	手指の消毒に手洗い ご協力ください
<ul style="list-style-type: none"> ●人との間隔はできるだけ2m空ける。 ●会話をしている際は可能な限り真正面を避ける。 ●感染が流行している地域からの移動、感染が 	<ul style="list-style-type: none"> ●流行している地域への移動は控える。 ●※高齢者や持病があり重症化リスクの高い人と会う際は、体調管理を普通より厳重に。 	



小川 しんいちろう

県民が主役の政治 — 深谷市・寄居町・美里町 —

発行：埼玉県議会 自民党県議団 〒369-1101 深谷市長在家14 TEL 048-583-2074 FAX 048-583-6838

県議会12月定例会報告

時短協力金として約19億4,283万円 補正予算【第11号】 債務負担行為及び繰越明許費 補正予算【第10号】

県議会12月定例会は11月30日から12月18日にかけて開催され、補正予算【第10号】【第11号】をはじめ県立4病院の地方独立行政法人化を進めるための条例等を議決しました。

補正予算【第11号】19億4,283万2千円は、新型コロナの感染拡大に伴う飲食店等（対象：さいたま市大宮区、川口市、越谷市）への営業時間短縮要請（第1期：12月4日～17日）に対して、全期間協力した店舗に協力金32万円を支給するためのものです。県はさらに12月15日、時短期間の延長（第2期：12月27日まで）と協力金40万円の追加支給を発表し、くわえて12月23日には再延長（第3期：令和3年1月11日まで）と協力金60万円の追加支給を発表しました。

なお補正予算【第11号】に関して、私たち自民党県議団は『科学的根拠を生かした新型コロナウイルス感染症対策を求める決議』を提案し、付帯決議として議決しています。

補正予算【第10号】は、債務負担行為（限度額：48億5,934万円）及び繰越明許費（65億5,035万4千円）の設定です。債務負担行為の設定とは、来年度の頭に支出できるよう設定し、来年第1四半期の工事量を確保するためのものです。これによって、年度末に道路工事が集中するといった状況を防ぐことができます。また、関係機関との調整に不測の日数を要した事業などについて、繰越明許費を設定することで適切な工期を確保することができます。

その他、県立4病院（循環器・呼吸器病センター、がんセンター、小児医療センター、精神医療センター）の地方独立行政法人化を進めるための条例を制定しました。4病院の法人化によって、これまで以上に県民の生命と健康を支える医療機関となるよう、しっかり見ていきたいと思っております。

今年度の
役職
所属委員会

自民党議員団 政務調査会 環境農林部会長
人材育成・文化・スポーツ振興特別委員長
環境農林委員 / 決算特別委員



環境農林委員会にて（県議会12月定例会 / 12月14日）

盗撮対策を強化へ！

県迷惑行為防止条例を一部改正

自民党議員団「迷惑行為防止条例の一部改正検討プロジェクトチーム」で検討を進めていた「埼玉県迷惑行為防止条例」の一部改正について、12月定例会において提案を行い、議決・成立しました。

近年のスマートフォンの普及によって、公共の場や乗り物の中とは断定できない場所での盗撮事件が増えており、これまで「公共の場や乗り物内」に限定していた規制場所について、学校や事務所、住宅等も加えたほか、カメラを向けたり設置する行為も規制の対象と決めました。なお、施行は令和3年4月1日からです。

地域の病院・診療所で診療可能に 新型コロナ&インフル医療機関を公表

県は、発熱患者が迷わずに地域の医療機関等で受診することができるよう、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ両方の診療・検査を行うことができる医療機関を「埼玉県指定 診療・検査医療機関」として指定、公表しています。深谷市・寄居町・美里町の指定 診療・検査医療機関は、2頁に掲載しています。

また「埼玉県指定 診療・検査医療機関検索システム（下記アドレス）」からも検索できます。

<https://flu-search.pref.saitama.lg.jp/>

- 他の症状の患者と接触しないように発熱患者専用の受付時間を設定しています。必ず事前に電話連絡をしてから受診してください。
- ※事前連絡をしないで医療機関に行っても、受診できないことがあります。
- 検査は、医師が必要と認めた場合に限り行われ、漠然とした不安がある、陰性証明がほしいという理由での検査はできません。
- 診療のみを行い、検査は連携する医療機関等へ引継ぐものも含んでいます。
- 受診の際はマスクを着用し、医療機関の指示に従ってください。
- 公共交通機関の利用を控えて受診してください。

※かかりつけ医がない方は「埼玉県受診・相談センター(048-762-8026)」へ
※夜間や休日・緊急時には「県民サポートセンター(0570-783-770)」へ

■受診先の確認・受診を迷う場合

埼玉県受診・相談センター

TEL：048-762-8026 FAX：048-816-5801
受付時間：午前9時～午後5時30分 月～土(祝日含む)

■受診先の確認・一般的な質問

県民サポートセンター

TEL：0570-783-770 FAX：048-830-4808
受付時間：24時間年中無休

大野知事がふれあい訪問で県北部を視察

大野知事のふれあい訪問は、地域の実情を把握して県政に的確に反映することを目的に、県内各地の様々な現場を訪問・視察する取り組みです。11月16日は美里町の集落営農組織円良田EGOMAクラブと寄居町の株式会社ワンビシアークイブス 関東第3センターを訪問され、地元選出県議として同席させていただきました。

集落営農組織円良田EGOMAクラブでは、特産品の開発や6次産業化に取り組んでいる集落営農組織のこれまでの成果や今後の課題について、代表の田島國利氏から説明を受けた後、加工工場を見学し、そこで働く方々と意見交換を行いました。

続いて(株)ワンビシアークイブスの訪問には花輪寄居町長も同席され、同社が営む情報資産管理事業について佐久間社長から説明を受け、会社内を見学しました。



円良田特産センター



▶「円良田EGOMAクラブ」では、えごまの栽培からえごま油の製造・販売まで行い、今では美里町を代表する特産物となっています。平成30年度には地区の全面積で特別栽培農産物認証を取得し、えごま油をふるさと認証食品プレミアムとして販売。令和元年度の円良田地区のえごま生産は3.4haに拡大し、収量は60kg/10a(地域平均の約4倍)となっています。また、円良田産の果樹とえごま油の搾りかすを用いたアイス3種類も商品化しています。

◀(株)ワンビシアークイブスにて佐久間文彦代表取締役社長、花輪利一郎寄居町長と



群馬県議の皆様が利根川新橋の建設 要望

群馬県議会から9名の県議の皆様が、利根川新橋の早期建設の要望で来庁されました(令和2年9月17日)。

埼玉県北部と群馬県東毛地域を結ぶ「利根川新橋」の建設は、南北軸の流れを大幅に促進し、物流経済の発展に大きく貢献すると考えています。また、大規模災害時における信頼性の高い道路としても期待ができ、都市と地方を結ぶ道路ネットワークとして、重要な役割を果たすものです。

埼玉県議会でも平成29年9月定例会において「利根川新橋及び幹線道路網の早期着工についての請願書」が採択されており、県北地域の発展に欠かせない新橋として、協力して取り組んでいこうと思います。



県道花園本庄線期成同盟会が県に要望 活動

県道花園本庄線期成同盟会(会長:吉田信解本庄市長、副会長:小島進深谷市長、花輪利一郎寄居町長及び各市町の議長)の皆様が、県道花園本庄線の早期完成の要望で来庁されました(令和2年10月29日)。

本庄市から小山川を渡って深谷市のコスモス街道につながる大変重要な道路であり、現在、小山川を渡る橋の建設が始まっています。一日も早く完成するよう、皆様と力を合わせてしっかり取り組んでまいります。



環境農林委員会報告 報告

12月定例会で環境農林委員会に付託された議案は、環境部に関しては、「埼玉県自然学習センター及び北本自然観察公園(北本市)」「埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター(所沢市)」「さいたま緑の森博物館(入間市、所沢市)」の指定管理者の指定について、農林部に関しては、「埼玉県農林公園(深谷市)」「埼玉県県民の森(横瀬町)」の指定管理者の指定について等でした。

議論の中で、サービス向上やコスト削減について、さらに工夫して取り組んで欲しいなどの意見がありましたが、議案は原案通り可決致しました。

その他、当面する行政課題として、令和元年9月から11月に県内で発生した豚熱(CSF)の状況及び防疫対策について、農林部から報告がありました。

▶埼玉県農林公園内の農産物直売所(写真左側)と木材文化館(木育ひろば/写真右側)。木材文化館では県産のスギやヒノキなどを活用した大規模な木工建築物、「木、森、土」をテーマに木材の良さと森林・林業の役割が紹介されています。



県議会2月定例会報告 (一般会計)

令和3年度予算 2兆1,393億6,522万円

安心安全を強化し持続可能な社会を目指す

県議会2月定例会は、県政史上最大となる当初予算(一般会計:2兆1,198億4,300万円)および補正予算(一般会計:195億2,222万円)等を議決し、3月26日に閉会しました。

新型コロナウイルス感染症対策としては、ワクチン接種体制の整備や病床確保のための医療機関への補助(約1,000億3,542万円)をはじめ、介護・障害者福祉サービス等への支援や飲食店等への支援などが盛り込まれています。

約444億円の令和2年度2月補正予算も計上

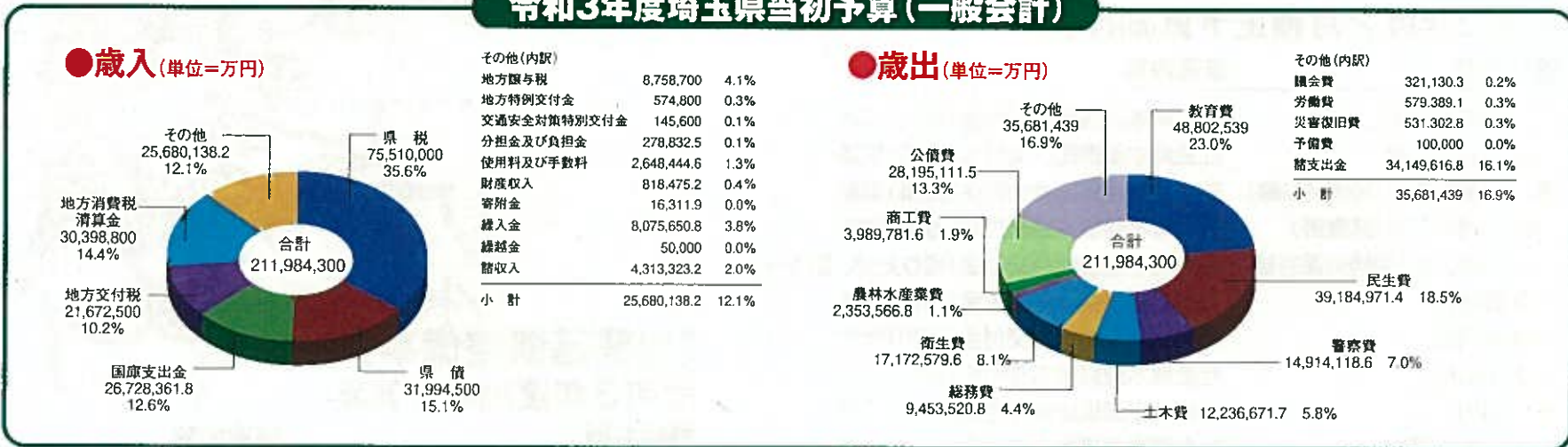
2月定例会では、13か月予算により切れ目なく事業を継続させるため、444億2,360万6千円の令和2年度2月補正予算を、これは急務を要するとして3月2日に議決しました。これにより、インフラ整備が年度で途切れず実施され、特に流域治水対策事業については3年度予算と補正予算合わせて280億3,950万円となり、調節池の整備や河道拡張などの治水対策が加速化して進められることになりました。

一方、歳入は県税収入が減少する厳しい状況となっておりますが、国庫支出金をはじめ臨時財政対策債や基金の切り崩し等で補うかたちとなっています。



▲本会議において人材育成・文化・スポーツ振興特別委員長として委員長報告を行いました(県議会2月定例会/3月25日)

所属委員会
 環境農林委員会
 経済・雇用対策特別委員会(委員長)
 図書室委員会



全国初、エスカレーター安全条例を可決!

私たち自民党県議団が2月定例会で提案しました「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」が可決・成立しました。施行は周知期間を設け令和3年10月1日としました。

本条例は、エスカレーターを利用する者は立ち止まって利用することを義務と規定しています。また、エスカレーターを管理する事業者には周知徹底を、県にも啓発の推進などを求めています。

エスカレーターを歩くことは重大な事故につながりかねません。条例化で状況を少しずつ改善していきたいと考えています。

副反応等の専門相談窓口

新型コロナのワクチン接種は医療従事者から始まり、4月からは高齢者(65歳以上)、その後基礎疾患を有する方や高齢者施設等の従事者、その他の方々へと順次行われる予定です。(地元の市町村から接種券が配布され、費用は国が負担するため無料です。)

県は副反応等に係る専門相談窓口を開設しました。専門的な知識を有する看護師や医師などが24時間体制で相談に応じます。今後も県民の皆さまが安心して接種できる体制を整えてまいります。

■専門相談窓口: 0570-033-226(ナビダイヤル)
 ※土日祝含む24時間対応

※接種券に関することや接種の方法等については、地元の市町村の相談窓口にお問い合わせください。

令和3年度
当初予算
(一般会計)

深谷市

寄居町

美里町

主な

令和3年度、地元の深谷市・寄居町・美里町において予算を確保することができました主なインフラ事業

《国土整備部》

令和3年度当初予算案

路線名等	事業内容
① 花園本庄線	道路改築
② 本庄妻沼線	道路改築
③ 花園本庄線(武蔵野)	社会資本整備総合交付金(改築)事業
④ 花園本庄線(榛沢通り)	社会資本整備総合交付金(改築)事業
⑤ 深谷嵐山線	道路改築
⑥ 上武大橋(伊勢崎深谷線)	橋りょう架換
⑦ 深谷嵐山線	社会資本整備総合交付金(改築)事業
⑧ 上武大橋(伊勢崎深谷線)	橋りょう整備事業
⑨ 針ヶ谷岡線	自転車歩行者道整備
⑩ 下北原陸橋(国道140号)	橋りょう修繕
⑪ 川本陸橋(国道140号)	橋りょう修繕
⑫ 万年橋(熊谷寄居線)	橋りょう修繕
⑬ 深谷寄居線	自転車歩行者道整備
⑭ 東通り跨線橋(深谷東松山線)	橋りょう修繕
⑮ 深谷東松山線	舗装道整備
⑯ 熊谷児玉線	舗装道整備
⑰ 国道140号	舗装道整備
⑱ 花園本庄線	舗装道整備
⑲ 針ヶ谷岡線	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業
⑳ 岡中央陸橋(針ヶ谷岡線)	橋りょう修繕
㉑ 藤治川	河川改修
㉒ 清水川外	排水機場等維持修繕
㉓ 清水川排水機場(清水川)	社会資本整備総合交付金(河川)事業
㉔ 荒川	河川改修
㉕ 坂本寄居線	道路改築
㉖ 広木折原線	道路改築
㉗ 国道140号	社会資本整備総合交付金(改築)事業

路線名等	事業内容
㉘ 赤浜小川線	社会資本整備総合交付金(改築)事業
㉙ 折原工区(国道140号)	災害防除
㉚ 坂本寄居線	自転車歩行者道整備
㉛ 折原2号橋(国道140号)	橋りょう修繕
㉜ 鉢形陸橋(国道254号)	橋りょう修繕
㉝ 八高陸橋(飯能寄居線)	橋りょう修繕
㉞ 桜沢陸橋(国道140号)	橋りょう修繕
㉟ 寄居陸橋(国道140号)	橋りょう修繕
㊱ 正喜橋(飯能寄居線)	橋りょう修繕
㊲ 国道140号	舗装道整備
㊳ 国道254号	舗装道整備
㊴ 寄居橋(長瀬玉淀自然公園線)	橋りょう修繕
㊵ 関山川	砂防施設
㊶ 少林寺川	砂防施設
㊷ 土井ノ沢	砂防維持修繕
㊸ 宮川	砂防施設
㊹ 広木折原線	道路改築
㊺ 本庄寄居線	自転車歩行者道整備
㊻ 本庄寄居線	舗装道整備
㊼ 国道254号	舗装道整備
㊽ 東橋(児玉町蛭川普濟寺線)	橋りょう修繕
㊾ 新上宿橋(熊谷児玉線)	橋りょう修繕
㊿ 児玉町蛭川普濟寺線	舗装道整備
1 粉木川	砂防維持修繕
2 小山川	砂防維持修繕
3 小山川	河川改修



令和2年度2月補正予算(国補正分)

路線名等	事業内容
補① 本庄妻沼線	社会資本整備総合交付金(改築)事業
補② 熊谷寄居線	社会資本整備総合交付金(改築)事業
補③ 花園本庄線(榛沢通り線)	社会資本整備総合交付金(改築)事業
補④ 花園本庄線(武蔵野)	社会資本整備総合交付金(改築)事業
補⑤ 上武大橋(伊勢崎深谷線)	社会資本整備総合交付金(橋りょう整備)事業
補⑥ 藤治川	社会資本整備総合交付金(河川)事業
補⑦ 唐沢川	社会資本整備総合交付金(河川)事業
補⑧ 小山川	社会資本整備総合交付金(河川)事業
補⑨ 荒川	社会資本整備総合交付金(河川)事業
補⑩ 広木折原線	社会資本整備総合交付金(改築)事業
補⑪ 赤浜小川線	社会資本整備総合交付金(改築)事業
補⑫ 坂本寄居線	社会資本整備総合交付金(改築)事業
補⑬ 広木折原線	社会資本整備総合交付金(改築)事業
補⑭ 熊谷児玉線	社会資本整備総合交付金(維持)事業
補⑮ 児玉町蛭川普濟寺線	社会資本整備総合交付金(維持)事業

《農業基盤整備事業》

令和3年度当初予算案

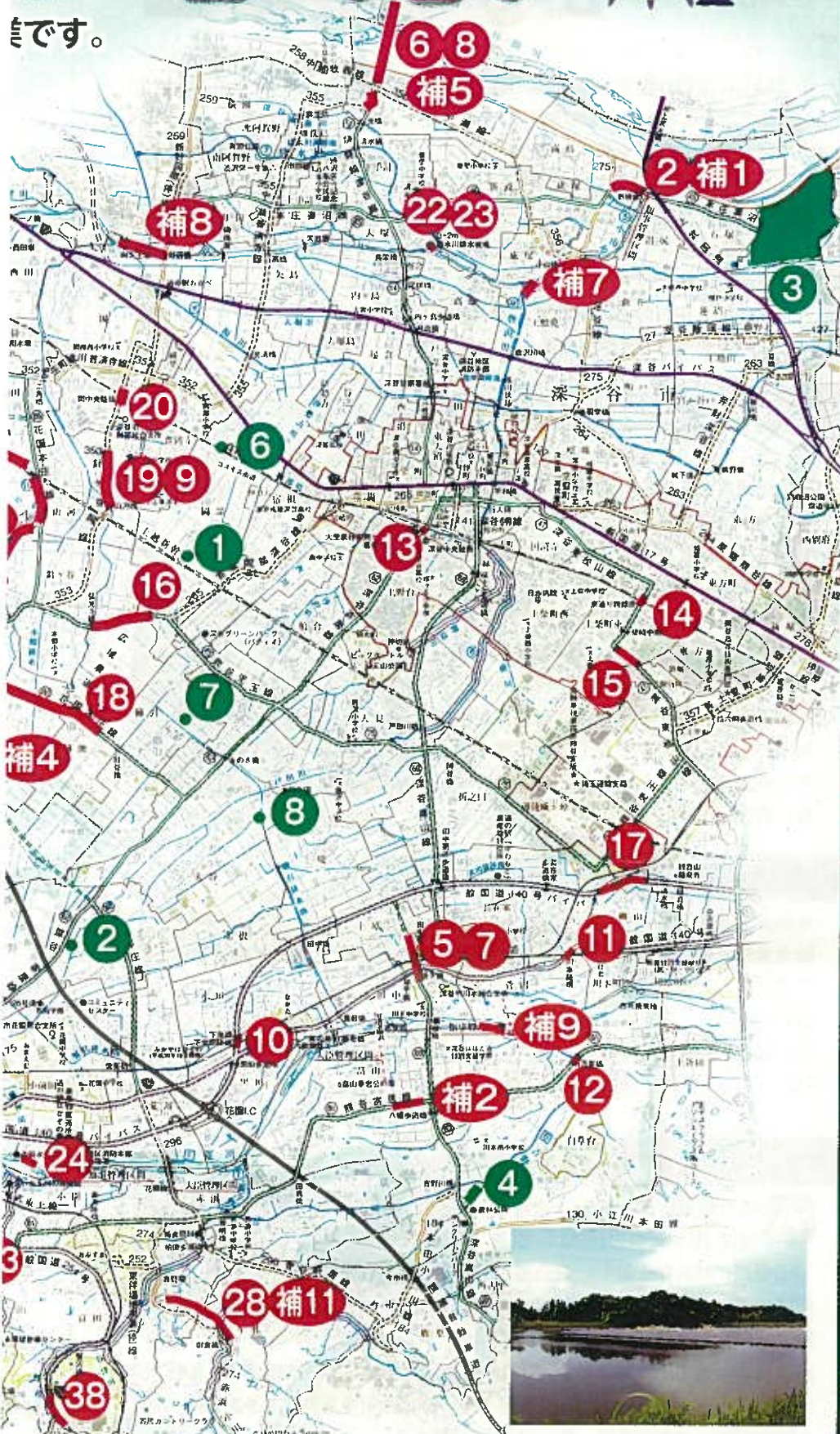
路線名等	事業内容
① 荒川中部左幹線(深谷市岡部)	かんがい排水事業(一般型)(用水路補)
② 荒川中部右幹線(深谷市武蔵野ほか)	かんがい排水事業(一般型)(付帯工1:
③ 明戸北部1期(深谷市江原ほか)	ほ場整備事業(畑地帯担い手育成型)(
④ 芳沼(深谷市本田)	農地防災事業(ため池等整備)(洪水吐
⑤ 円良田湖(寄居町末野)	農業用ため池緊急耐震化対策事業(堤
⑥ 北武蔵(深谷市岡部ほか)	農道整備事業(農道保全)(橋梁補修工
⑦ 荒川中部(深谷市櫛引)	団体営基盤整備促進事業(水利施設等
⑧ 大谷(深谷市大谷)	彩の国ゆたかなむらづくり整備事業(精
⑨ 円良田湖(寄居町末野)	農業用ため池緊急耐震化対策事業(堤
⑩ 坊入池(美里町猪俣)	団体営基盤整備促進事業(ため池整備
⑪ 広木(美里町広木)	団体営基盤整備促進事業(農業水利施



事業



です。



芳沼

令和2年度2月補正予算案 路線名等 事業内容

丸=0.1km

掃工1式)

流水路1式)

補強1式)

式)

全高度化事業)(遊歩道L=910m)

能強化/実施設計1式、管路施設1式)

補強1式)

一般)(実施設計1式、洪水吐、法面保護工改修1式)

安全対策)(安全対策1式)

補① 広木(美里町広木) 団体営基盤整備促進事業
(農業水利施設安全対策)
(安全対策1式)



円良田湖

一般質問に登壇(令和3年3月2日) 一問一答で熱い議論交わす

医療機関への経営支援や農業担い手育成策など質問・提言!

県議会2月定例会では一般質問を行い「医療機関への経営支援について」や「NHK大河ドラマを契機とした観光振興とPR推進について」「将来の埼玉農業を担う農家子弟も含めた新規就農者の確保と育成について」など、7項目8件について提言・質問を行いました。本号ではその内容(概要)をご報告します。皆さまのご意見やご感想を頂けると幸いです。



医療機関への経営支援について

Q 小川県議 新型コロナウイルス感染症の患者を受け入れている医療機関における経営が依然として厳しい状況にある。強い使命感を持って患者を受け入れた医療機関ほど、経営が悪化しているのは由々しき問題だ。地域医療提供体制を確保するため、県は医療機関に積極的な支援を行う必要があると考えており、知事の所見を伺いたい。

A 大野知事 本県では昨年8月13日から、病床確保料等の補助金の概算払いを行った。支援額は1月末時点で約419億円と、東京に次いで2番目に多い額となっている。また昨年4月からは県独自の支援策として、約36億円の入院協力金や看護職員手当の助成を行ってきた。独自支援策については来年度以降も内容を拡充する予算(計画)を立てている。

Q 小川県議 新型コロナ以降の県民の受診行動の変化まで分析が及んでいないように感じる。コロナ以降、ライフスタイルは大きく変貌しつつあり、今後の受診行動にも表れてくると思う。より長期的な視点を持って、医療機関の窮状を救う必要がある。より詳細な答弁を求める。

A 大野知事 来年度、医療機関の経営を支援する事業を計画している。在宅医療等の分野で医療機関が介護施設等と連携し、質の高い医療を提供しながら、安定的な収益を確保できる経営モデルを作成する。このモデルを県内の各医療機関に周知し、医療機能の分化と連携を進めることによって、地域医療提供体制の確保に取り組んでいきたい。

NHK大河ドラマを契機とした観光振興とPR推進について

「青天を衝け」に合わせた観光振興について

Q 小川県議 地元・深谷市では官民で構成する組織が立ち上がり、観光客誘致の目玉となる「大河ドラマ館」をオープンさせるなど、このチャンスを生かすため、市を挙げて取り組んでいる。県には深谷市と連携して、深谷市への誘客を図るとともに、県内を観光で広く巡っていただけのような取り組みが期待される。

さらに渋沢翁は大河ドラマだけではない。令和6年にはデザインが一新される1万円札の肖像、このインパクトはたいへん大きい。大河ドラマの追い風をしっかりと捉え、次のビッグチャンスである令和6年も見据え、一過性のブームに終わらせないよう取り組むべきだ。県の取り組みを伺いたい。

A 産業労働部長 今年度は東京駅発着のラッピングバスの運行や、JR山手線や東京メトロ全線の車内ビジョンでの動画の放映など、都内を中心に渋沢翁と深谷市をPRした。令和3年度予算には、東京駅や新宿駅を起点としたゆかりの地を巡る「はとバスツアー」の企画実施経費を盛り込んでいる。また旅行博などを生かし、本県を訪れるツアーの企画や実施を働きかけ

ていく。さらに全国の方が渋沢翁を学べる三偉人検定をWEB上で実施するとともに、ゆかりの地巡りに役立つ情報誌の発行などで誘客につなげたい。



●埼玉150周年に絡めた「鎌倉殿の13人」のPR推進について



畠山重忠は平安時代の終わりから鎌倉時代のはじめにかけて活躍した武蔵国を代表する武将で、現在の深谷市畠山の出身といわれています。

Q 小川県議 大河ドラマは「青天に衝け」に続き、令和4年には「鎌倉殿の13人」が始まる。北条義時を主人公に鎌倉幕府を支えた家臣団が繰り広げる抗争を描くストーリーで、深谷市出身で嵐山町に館があったと伝わる畠山重忠はじめ比企能員、源範頼など、埼玉にゆかりのある人物が2年連続で大河ドラマに登場することになり、本県にはこれ

まで以上に注目が集まる。また、本県は今年で誕生150周年を迎え、「埼玉150周年記念事業」にも取り組んでいる。

大河ドラマの効果を最大限に引き出すためにも、埼玉150周年事業に絡めてPR推進を図っていくべきだと考えるが所見を伺いたい。

A 県民生活部長 まずWEBやSNSなど多様な媒体を活用し、登場人物のゆかりのスポットを紹介するなどの情報を発信する。また、地元各市町村、企業、メディア等に対しても「鎌倉殿の13人」をテーマにしたPR活動やイベントの実施を働きかける。埼玉150周年をさらに盛り上げるためにも、議員のご提案を踏まえ、記念事業の中でPRしていきたい。

■将来の埼玉農業を担う農家子弟も含めた新規就農者の確保と育成について

Q 小川県議 地域を見回すと、高齢化で農業をやめる方が年々多くなっているように感じる。一方、大規模な法人等では、農外から人材を雇い入れ規模を拡大したり、6次産業化に取り組んでいる例も見られる。

次の世代の担い手となる新規就農者を増やすことに一層力を入れるべきだ。農家子弟を含め、新規就農者の確保・育成にどのように取り組んでいるのか聞きたい。

A 農林部長 新規就農者の養成の中核を担う農業大学校では、講義・実習・農家研修を組み合わせた実践教育を行っている。最近では、作付け計画から販売までの農業経営を模擬体験するチャレンジファームの実施等、教育内容の充実を図ってきている。令和3年度からは、農家子弟を対象とした新たなコースを設置し、経営分析や就農後の経営計画策定など、オーダーメイド型の指導を行いたいと考えている。

一方、地域の関係機関や農業者が一体となって設置している「明日の農業担い手育成塾」では、農外からの参入者だけでなく、親とは別の品目に挑戦する農家子弟も対象としており、さらなる塾の拡大を推進していく。

Q 小川県議 農業大学校の教育内容を実践的かつ効果的なものへ充実させることが急務だと考える。

A 農林部長 令和3年度は、学生が場所や時間を問わず学習できるeラーニングシステムを導入し、学習環境の充実を図る未来型農業教育環境整備事業を計画している。ロボットトラクタの実演など、学生が先端技術に触れる機会もつづけている。今後、一層の充実を図っていききたい。



農業大学校の実習風景

■県北地域における産業団地の整備について

Q 小川県議 県北地域の交通アクセスに優れた地区などにおいて、今後産業団地の整備を積極的に進めるべきだと考えている。県北地域で産業団地整備を進めていく上での課題は何か、今後どのように進めていこうと考えているのか聞きたい。

A 公営企業管理者 県北地域における課題は収益確保が難しいところ。そのため、交通アクセスに優れるなど、企業ニーズの高い地区の選定

を地元市町村と連携して取り組んでいる。また、造成工事を進めていく上で県北地域に限らず埋蔵文化財や産業廃棄物への対応なども事業費を押し上げる要因になる。こうしたリスクを回避するため、事前の調査を徹底している。あわせて、市町村と事前に負担についてのルールを定めて事業化している。今後も産業団地の整備で雇用の創出や地域経済の活性化を図っていききたい。

■県道深谷嵐山線のバイパス整備について

Q 小川県議 県道深谷嵐山線は緊急輸送道路に指定され、県民の「命を守る」道路の役割を担っている。しかし、国道140号が交差する武川交差点付近は、県道がクランク状になっており、さらに秩父鉄道の踏切と交差点が近接していることから、慢性的に渋滞している。また近くには小学校があり、大型車の交通量も多いことから、歩行者の安全確保についての心配の声が大きくなっている。

これらの問題を解決するには、国道140号バイパスの上原交差点から武川交差点までの県道深谷嵐山線バイパスの整備事業を加速化する必要があると考える。現在の進捗状況と今後の見通しについて伺いたい。

A 県土整備部長 現在の進捗状況は、用地買収率が98%。国道140号バイパスから都市計画道路武川駅北通り線までの480m区間は、平成30年度に供用した。令和2年度は武川交差点南側の用地取得と秩父鉄道との立体交差に必要な道路設計を進めており、令和3年度には秩父鉄道が鉄道直下部の詳細設計を実施する予定。秩父鉄道と調整を進め、早期に工事に着手できるよう努める。



秩父鉄道の北側、県道深谷嵐山バイパス線の計画場所

一般質問全項目 (県議会2月定例会/令和3年3月2日)

- 1 医療機関への経営支援について (知事)
- 2 コロナ禍における姉妹友好州省との交流について (知事)
- 3 NHK大河ドラマを契機とした観光振興とPR推進について
 - (1) 「青天を衝け」に合わせた観光振興について (産業労働部長)
 - (2) 埼玉150周年に絡めた「鎌倉殿の13人」のPR推進について (県民生活部長)
- 4 将来の埼玉農業を担う農家子弟も含めた新規就農者の確保と育成について (農林部長)
- 5 プラスチックごみ問題の解決に向けて (環境部長)
- 6 県北地域における産業団地の整備について (公営企業管理者)
- 7 県道深谷嵐山線のバイパス整備について (県土整備部長)



2月定例会から一問一答方式での一般質問が始まりました。右手前は小川県議の質問に対し答弁する大野知事。なお密を避けるため本会議場内には3分の2の議員が、3分の1の議員は別室での参加となっています。

※一般質問の全文は県議会のホームページをご参照ください。→ <https://www.pref.saitama.lg.jp/s-gikai/index.html>



自民党県議団ニュース

埼玉県議会自由民主党議員団



県民ニーズを的確に捉え、県政をリードする自民党県議団!



所属議員：長峰宏芳 小谷野五雄 小島信昭 齊藤正明 宮崎栄治郎 本木 茂 小林哲也 田村琢実 高橋政雄 岩崎 宏 神尾高善 諸井真英 木下高志 中屋敷慎一 梅沢佳一 新井一徳 須賀敬史 中野英幸 武内政文 齊藤邦明 小川真一郎 白土幸仁 岡地 優 荒木裕介 新井 豪 立石泰広 小久保憲一 日下部伸三 永瀬秀樹 細田善則 岡田静佳 内沼博史 横川雅也 飯塚俊彦 浅井 明 宇田川幸夫 松澤 正 吉良英敏 美田宗亮 藤井健志 木下博信 関根信明 宮崎吾一 高木功介 松井 弘 渡辺 大 千葉達也 山口京子 逢澤圭一郎 高橋稔裕(以上50名)



団長ご挨拶

埼玉県議会自由民主党議員団

団長 小島 信昭

謹賀新年

皆様にかかれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素は、埼玉県議会自由民主党議員団の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、本県に於いても新型コロナウイルス感染症が二月から確認され、以後感染症対策に追われた一年でありました。県議会に於いても、補正予算を異例の十一度審議することで、県民のコロナ禍に於ける生活の安心に繋げて参りました。また、コロナ対策に於ける県の執行体制の検証等を行うため、自民党県議団の提案で、「新型コロナウイルス

ル感染症対策特別委員会」を県議会で立ち上げ、県民の安全・安心に繋がる意見・提言を取りまとめ、知事に提出致しました。現在の県のコロナ感染症対応に活かされているものと自負しております。

この他にも、主な取り組みを紹介致します。昨年二月定例県議会に於いて自民党県議団にて提出・可決された「埼玉県ケアラー支援条例」が施行され、家族介護に従事している方々を支援する施策が始まりました。この条例は、全国初で制定・施行され、全国的にも県議会への視察など、注目を頂いております。特に、十八歳未満のヤングケアラー

の実態調査が県で行われ、家族介護に従事するヤングケアラーの児童・生徒達を把握することで、今後の個別対策が推進されるものと期待しています。

また、かねてより埼玉県の懸案事項でありました、保育士等の処遇改善に関わる公定価格の改善に向け、県議団として国に要望を行いました。これは、国が定める公定価格の基準が、首都圏で埼玉県のみ基準割合が低く設定されているもので、早期の改善を求めたものであります。要望実現により、保育士等の給与水準が上がり、保育士不足の是正に繋がるものであります。

今後も、時代の変化に即応できる政策に取り組みとで、県民の側に立った県政運営を行うて参ります。県民の皆様の自民党県議団への更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。



県議団役員と大野知事と共に坂本大臣に要望書を提出

保育士等の処遇改善のため、坂本少子化大臣に、公定価格改善の要望を行いました!

埼玉県の保育士給与は、関東近隣都県と比較して低い状況にあり、その最大の原因が人件費の原資となる公定価格(保育所運営費収入)が不当に低いことにあるります。また、国家公務員の地域手当の区分に準拠した公定価格を国が定めていることは、地価等が反映されていなく実態に即していません。

そこで、隣接する地域で大きな公定価格の差が生じないよう、地域区分の設定方法の見直し等により、地域間格差を是正することを、坂本少子化担当大臣に要望致しました。要望に当たっては、山口代議士、三林副大臣、大野知事にも同席頂き、大野知事には埼玉県の実状説明を行って頂きました。坂本大臣からは、改善に向けた前向きな回答を頂きました。



厚労省の担当によるコロナ勉強会の様子



大野知事に新型コロナウイルス感染症対策の緊急要望を行う県議団対策本部

新型コロナウイルス感染症については、新しい感染症として情報が二元的ではない中、常に最新の情報を収集することで、県の対策に活かされるように取り組んでいます。常に県議団の情報共有を図るため、勉強会や情報収集、意見交換を行っており、今後も県民の安全・安心に繋がる施策に取り組んで参ります。

また、緊急事態宣言中の県の対応等を検証し、今後の県のコロナ施策に活かす必要性から、埼玉県議会に「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」の設置を提案し設置致しました。県議会に於ける審議を通して「意見・提言」を取りまとめ、知事に提出致しました。

県民の皆様や医療従事者、エッセンシャル・ワーカーの方々等から寄せられた要望等を県執行部に具体的かつ迅速な対策を求めるなど、対策本部にて取りまとめました。特に、時限的な専用医療施設の整備を行う要望については、予算措置が取られ、現在、医療機関のご協力を頂きながら整備が進められているところ

コロナ対策に全力投球!

埼玉県議会自由民主党議員団

コロナウイルス感染症対策本部報告!

埼玉県議会自由民主党議員団では、埼玉県の新型コロナウイルス感染症対策について、県民の安全と安心に繋がる緊急対策が重要であるとの観点から、県議団内に昨年4月の緊急事態宣言発令後すぐに、「新型コロナウイルス感染症対策本部」を立ち上げ、取り組みを進めて参りました。



県議団迷惑行為防止プロジェクト・チームでの審議の様子

近年、スマートフォン等の急速な普及、撮影機器の高機能化、小型化に伴い、盗撮行為が社会的問題となつています。盗撮された画像データ等は、半永久的に記録され、インターネット上に流出する恐れや個人が特定されケースも少なくありません。そこで、自民県議団では、悪質な盗撮行為等の規制を強化することで、県民生活の平穏を図ることを目指し、プロジェクトチームを組織し、盗撮行為の規制場所、規制行為、罰則等を強化する「埼玉県迷惑行為防止条例の一部を改正する条例案」の制定に向け取り組んで参りました。

県迷惑防止改正条例を可決



大野知事に政策大綱を提言する自民県議団役員

知事からは、予算編成に際しては各部署に周知を図り、検討させていただきたいと前向きな返答がありました。

「政策大綱」を提言・提案!

自民県議団が令和二年度予算編成に関する

「政策大綱」「市町村要望」を県知事に提出!

自民県議団政調会が取りまとめた「令和二年度政策大綱(合計336項目)」及び「令和三年度埼玉県予算等に対する要望(市町村要望197項目・議員要望41項目)」を大野知事に提出し、令和三年度の埼玉県予算並びに施策の編成に反映するよう申し入れを行いました。

令和三年度の予算については、引き続きコロナ対策、ポストコロナをにらんだDXをはじめとする新しい生活様式、更には経済の再興に向けた対策や災害に強い県土づくりなどが不可欠であります。

県政のこと、身近なこと等、何でもご相談下さい!



県政刷新! 改革を前へ!
埼玉県議会議員
神尾たかよし

自民県議団県政調査事務所
埼玉県深谷市針ヶ谷 399-1
電話: 048-585-3929
FAX: 048-585-5149
<https://kamiotakayoshi.com/>



希望に溢れ、誇りある埼玉を!
埼玉県議会議員
小川しんいちろう

自民県議団県政調査事務所
埼玉県深谷市長在家 1 4
電話: 048-583-2074
FAX: 048-583-6838
<http://www.ogawa-shinichiro.com/>